

取扱説明書 サインージモニター

このたびはLGサインージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

42WS50MW
47WS50MW

目次

4 ライセンス

5 設置する

- 5 付属品を確認する
- 6 別売アクセサリ
- 7 各部の名称
- 8 ケーブルをまとめる
- 8 スピーカーを取り付ける
- 9 スタンドを取り付ける
- 9 IRレシーバーを使用する
- 10 ケンジントン (Kensington) ロック
- 10 ポートレートレイアウト
- 11 壁に取り付ける

12 リモコンを使用する

14 操作する

- 14 PCを接続する
- 15 - RGB接続
- 15 - DVI-D接続
- 16 - HDMI接続
- 16 - Display Port接続
- 17 - IRレシーバー接続
- 18 画質を設定する
- 18 - 映像モードの設定
- 18 - 画質の詳細設定
- 19 - PCの画質を調整する
- 19 音声を設定する
- 19 - サウンドモードの設定
- 20 - サウンドモードの詳細設定
- 20 機器設定
- 20 - 画面サイズ
- 22 - 入力切換

23 その他の操作

- 23 - 有線LANに接続する
- 24 - ネットワーク接続を確認する
- 25 - USB機器を接続する
- 26 - USB機器のファイルを確認する
- 27 - 動画の再生
- 31 - 写真の再生
- 34 - 音楽の再生
- 36 - コンテンツリストの表示
- 37 - DivX® VODを再生する
- 38 - PIPとPBPを利用する

40 詳細設定

- 40 メインメニューを表示する
- 41 - 映像設定
- 44 - 音声設定
- 45 - タイマー設定
- 46 - 機器設定
- 51 - Picture IDを利用する
- 52 - ネットワーク設定

53 外部機器を接続する

- 54 BD・DVDプレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する
- 54 - HDMI接続
- 54 - コンポーネント接続
- 55 - 外部入力 (CVBS) 接続
- 55 USBに接続する
- 56 LANへの接続
- 56 - LAN接続
- 57 複数のモニターを接続する (デイジーチェーン)

58 困ったとき

61 仕様

67 IRコード

68 RS-232Cで接続する

- 68 ケーブルの接続
- 68 RS-232C構成
- 68 通信パラメーター
- 69 コマンドリファレンスリスト
- 71 送受信プロトコル

84 保証とアフターサービス

ライセンス

サポートされるライセンスの種類は、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comをご参照ください。



HDMI、HDMIのロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。



DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified® (DivX認証) デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて: DivXビデオオンデマンド (VOD) コンテンツを再生するには、このDivX Certified® (DivX認証) デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 1080pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified® (DivX認証) 取得済み。

DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

次の1つ以上の米国特許により保護されています: 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

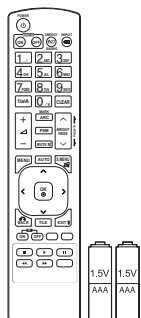


ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

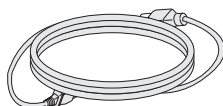
設置する

付属品を確認する

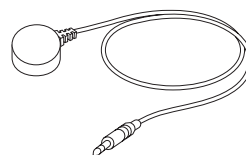
本機には次の付属品があります。お確かめください。



リモコンおよび電池



電源コード



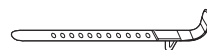
IRレシーバー



CD（取扱説明書）/ カード



D-Sub信号ケーブル



ケーブルホルダー



注意

- 安全のためおよび本機の製品寿命を維持するため、推奨品以外は使用しないでください。
- 推奨品以外の使用により生じた損害・損傷は保証いたしかねます。

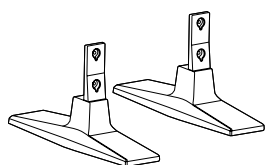


メモ

- 付属品は、モデルによって実際とは異なる場合があります。
- 製品の仕様および取扱説明書の内容は、改良のため、予告なく変更される場合があります。

別売アクセサリ

別売アクセサリの機種名やデザインは、改良のため、予告なく変更されることがあります。実際の製品および付属品の外見は、この図とは異なる場合があります。



ST-200T
スタンド



ネジ

:直径4.0 mm x ピッチ0.7 mm x 長さ
10mm (スプリングワッシャーを含む)

スタンドキット



SP-2000
スピーカー



ケーブルホルダー/
結束バンド



ネジ

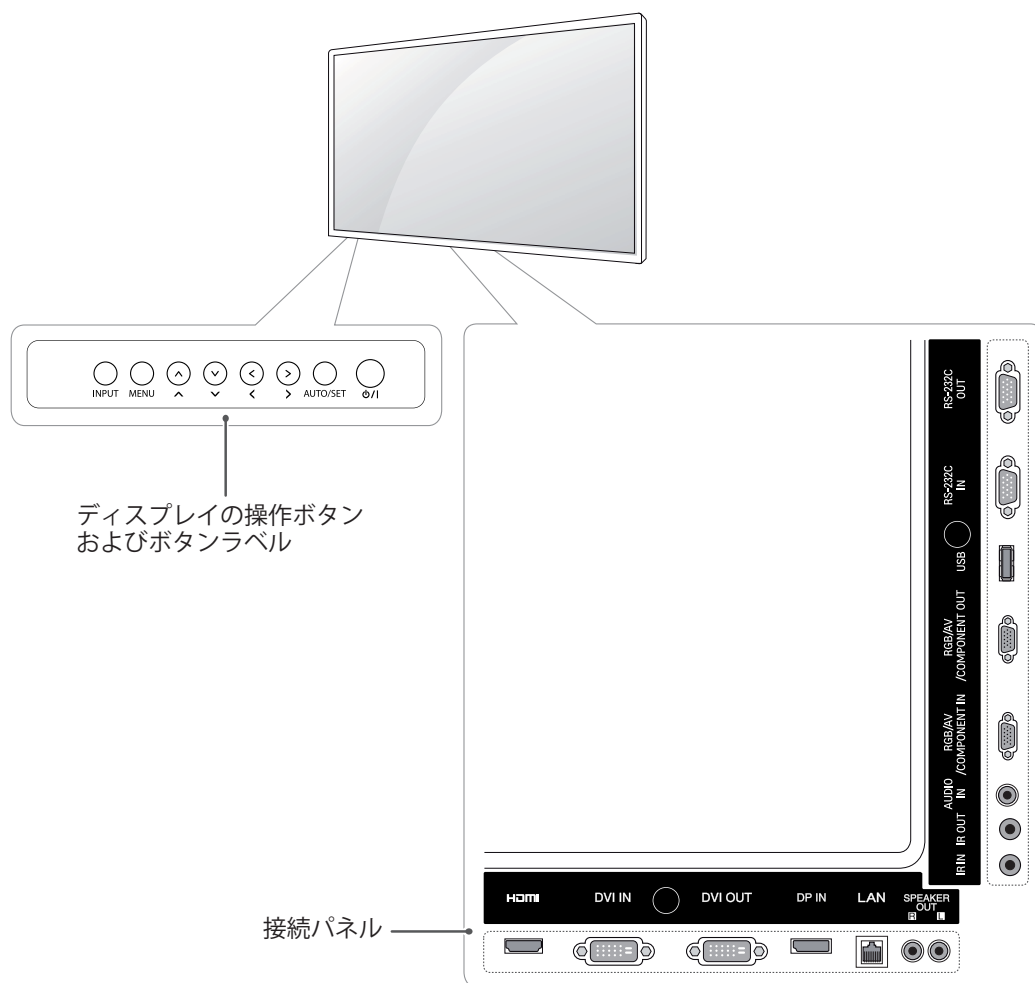
直径4.0 mm x ピッチ0.7 mm x 長さ
8mm (スプリングワッシャーを含む)

スピーカーキット

！ メモ

- 機種によっては、ケーブルホルダー/結束バンドは使用できないことがあります。
- 機種によっては、別売アクセサリに対応しないものもあります。

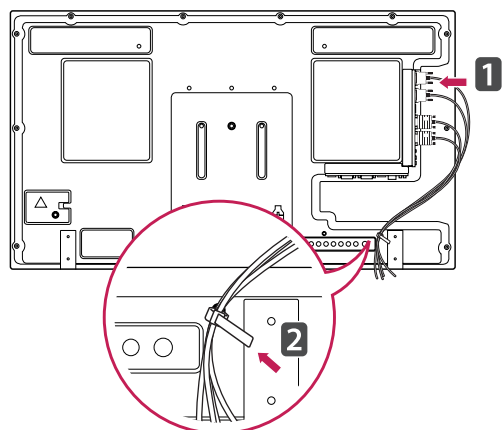
各部の名称



ボタン	説明
INPUT (入力)	入力信号を切り替えます。
MENU (メニュー)	メニューを表示／終了します。
▲ ▼	項目を上下に調整します。
< >	音量を調整します。
AUTO/SET (自動/設定)	現在使用中の信号および設定モードを表示します。 RGB接続時に自動的に画面を調整するには、このボタンを選択します。
⏻ / I	電源を入／切します。

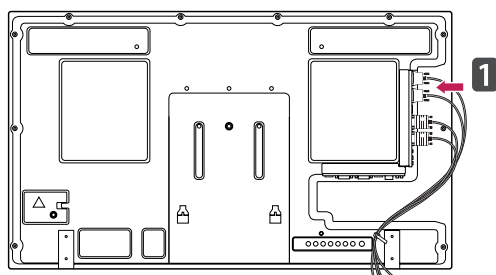
ケーブルをまとめる

信号ケーブルの接続を完了してから、ケーブルホルダーでケーブルをまとめます。

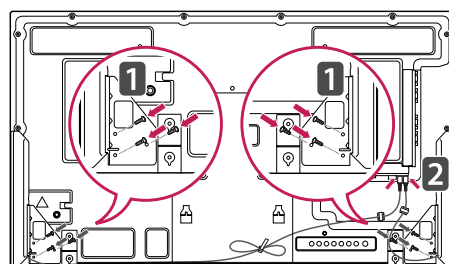


スピーカーを取り付ける

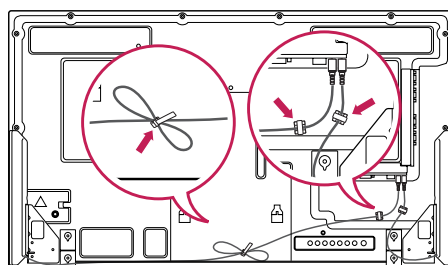
- 1 スピーカーを取り付ける前に、使用する入力信号ケーブルを接続します。



- 2 下図のように、ネジを使ってスピーカーを取り付けます。次にスピーカーケーブルを接続します。



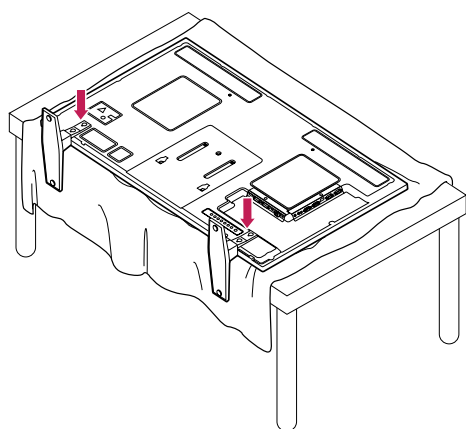
- 3 スピーカーを取り付けたら、ケーブルホルダーと結束バンドを使用してスピーカーケーブルをまとめます。



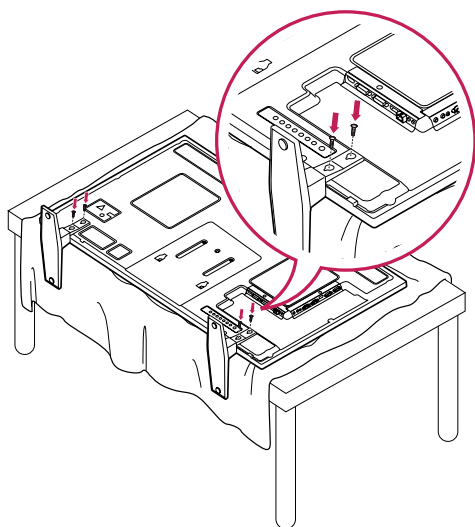
スタンドを取り付ける

-機種により異なることがあります。ここでは、別売アクセサリーのスタンドを一緒に取り付ける場合を説明しています。

- 1 テーブルの上に梱包袋またはやわらかい布などを敷き、画面が下を向くようにして製品をその上に置きます。

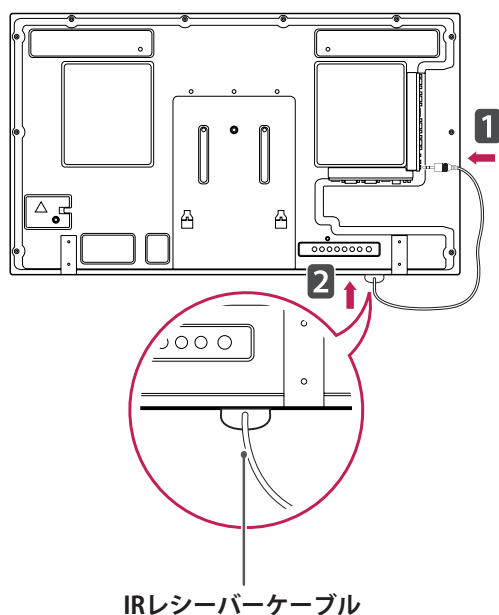
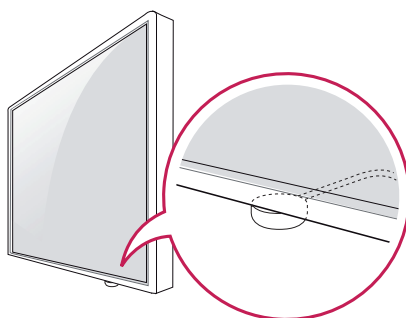


- 2 ネジを使用して製品背面にスタンドを固定します。



IRレシーバーを使用する

IRレシーバーを設置すると、リモコンセンサーを使用環境に合わせて好みの場所に指定することができます。RS-232Cの接続時は、コネクタの接続が始まる1台目の製品にIRレシーバーを設置します。レシーバーは、下図のようにセットの正面側を向くように取り付けます。



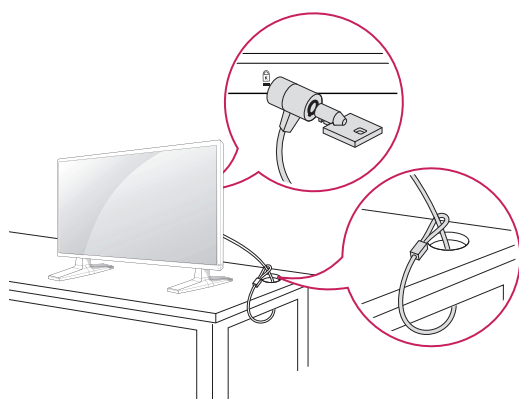
！ メモ

- ・ IRレシーバーケーブルが正面側を向いていない場合、信号の受信範囲が狭まる場合があります。
- ・ IRレシーバーには磁石が付いています。セットの底面（通常の設置の場合）または背面（壁に設置した場合）に設置したり、取り外すことが可能です。

ケンジントン（Kensington）ロック

本機には背面にケンジントンロック装着用の穴があります。ケンジントンロックの詳しい内容はケンジントンロックに付属の取扱説明書をご参照いただくか、<http://www.kensington.com>にアクセスしてください。

下図のようにつないで、本機をテーブルに固定します。

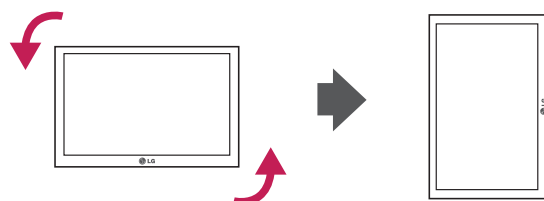


！ 注意

- ケンジントンロック用の金具とケーブルは別売品です。

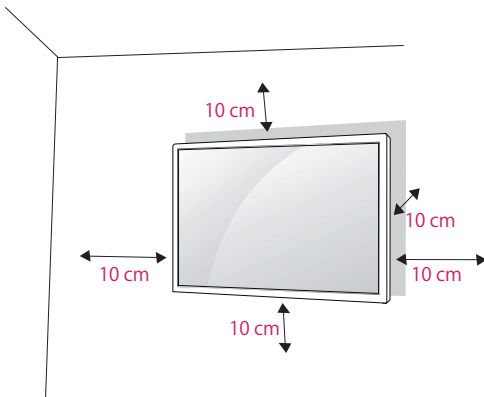
ポートレートレイアウト

ポートレートレイアウトで設置する場合、本機を（画面に向かって）反時計回りに90度回転させます。



壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、上下左右および壁より10cm以上の空間を確保できる場所に設置してください。VESA規格に適合する壁掛けブラケット製品をご使用ください。



本機を壁に取り付けるには、本機の背面に壁掛けブラケット（別売品）を取り付けます。設置の際に、製品を落としたり、落下することがないようにご注意ください。

- 1 VESA規格に準拠した壁掛けブラケットおよびネジを使用してください。
- 2 標準より長いネジを使用した場合、本機の内部が破損するおそれがあります。
- 3 不適切なネジを使用した場合、本機が破損し、取り付け位置から落下する可能性があります。このような場合に生じた損害・損傷は保証いたしかねます。
- 4 本製品はVESA規格に準拠しています。
- 5 下記のVESA規格に従ってください。
 - 785 mm（31インチ）以上
 - * 取り付けネジ：直径6.0 mm x ピッチ1.0 mm x 長さ10 mm



注意

- 感電のおそれがありますので、本機を移動または設置する場合は、先に電源コードを抜きます。
- 本機を天井または傾きのある壁面に取り付けると、本機が落下し重大なけがを負う可能性があります。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。本機が損傷し、保証が無効になる可能性があります。
- VESA規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。使用方法の誤りまたは不適切なアクセサリの使用が原因の破損やけがは、保証の対象にはなりません。



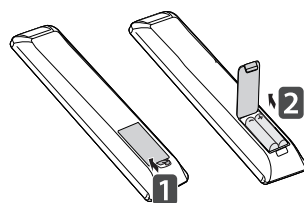
メモ

- VESA規格の仕様に適合するネジを使用してください。
- 壁掛けブラケット製品には、設置のための取扱説明書および必要な部品が同梱されています。
- 壁掛けブラケットは別売品です。必要に応じてご購入ください。
- ネジの長さは壁掛けブラケットの種類によって異なります。適切な長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛けブラケットに付属の取扱説明書などをご参照ください。

リモコンを使用する

この取扱説明書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

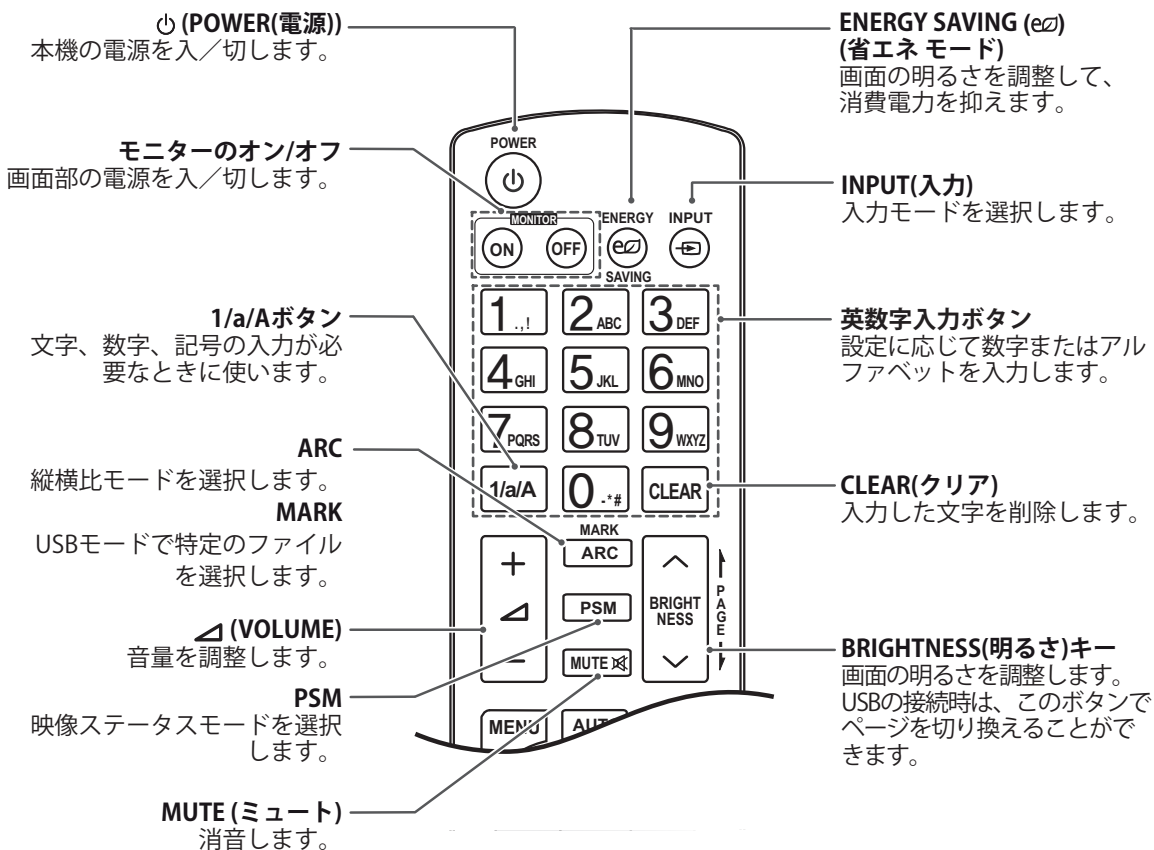
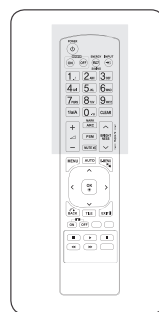
電池を交換するには、電池カバーを開け、1.5 Vの単4形乾電池2本のリモコンの⊕と⊖のラベルに合わせて交換し、電池カバーを閉じます。

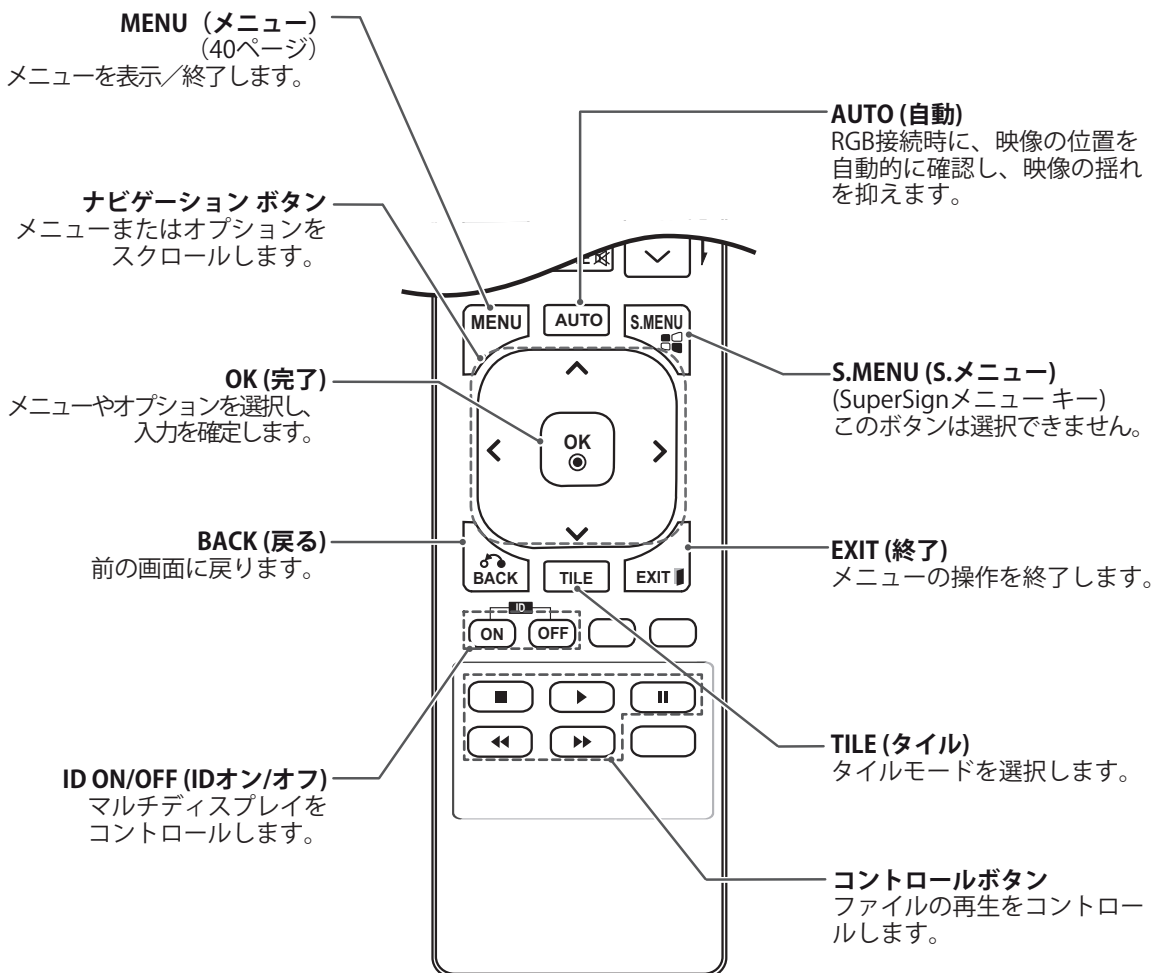
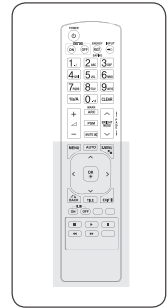


注意

- ・ リモコンが故障するおそれがあるため、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- ・ リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用します。

リモコンは、必ず本機のリモコン受光部に向けて使用してください。





操作する

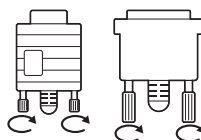
PCを接続する

本機には、プラグアンドプレイ機能に対応しています。

*プラグアンドプレイ：PCに機器を接続して電源を入れると、追加の設定や操作をしなくても、機器の電源が連動してオンになります。



注意



- 信号入力ケーブルを接続し、ネジを時計回りに回して締め付けます。

- 画面を指で長時間押し続けしないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。

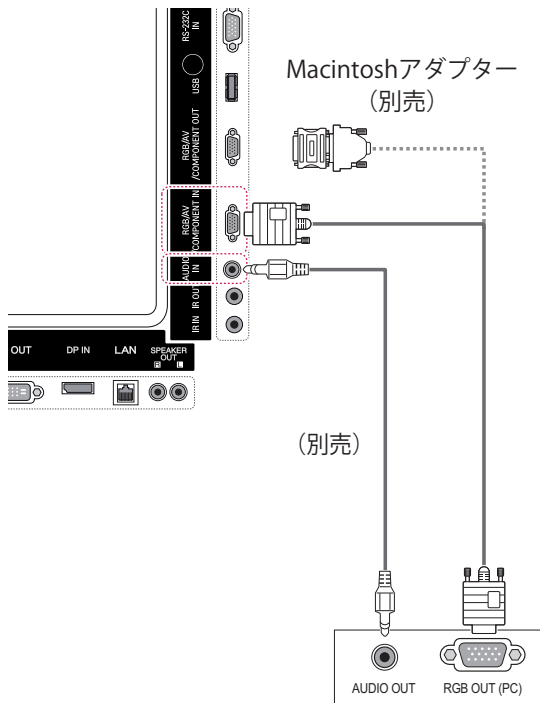


メモ

- HDMI接続をすると、より高画質の画面を楽しむことができます。
- 安全にお使いいただくために、D-sub 15ピンまたはDVI/HDMIケーブルをご利用の際は、フェライトコア付きのものをご使用ください。
- 本機が冷えている状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電し、温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは正常な動作です。

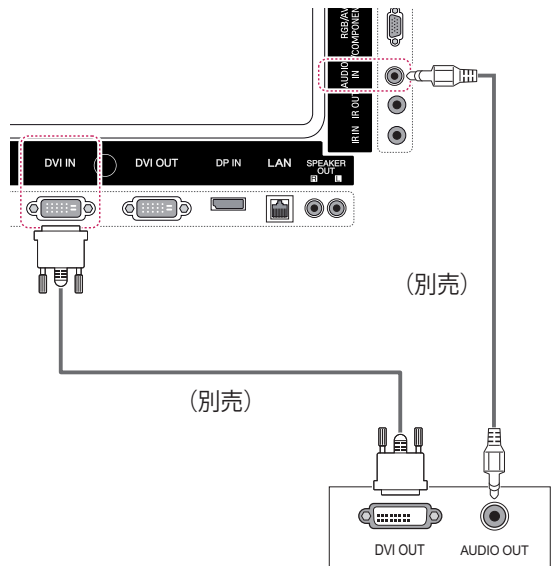
RGB接続

PCから本機にアナログ映像信号を伝送します。PCと本機をD-sub 15ピンケーブルで接続します。



DVI-D接続

PCから本機にデジタル映像信号を伝送します。PCと本機をDVIケーブルで接続します。DVI-HDMIケーブルでDVI端子とHDMI端子を接続することもできます。音声出力も行う場合は、オーディオケーブルの接続も必要です。



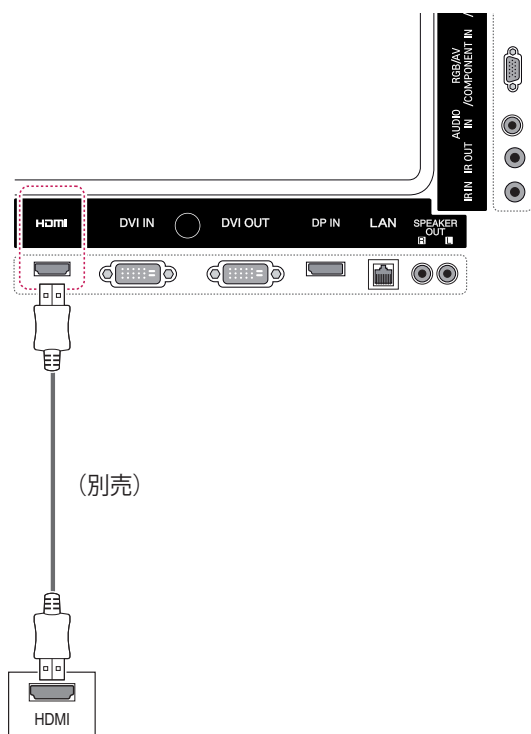
! 注意



- Macモニター変換アダプターは、標準規格に準拠する正しいものをご使用ください。
- 本製品にAppleのPCを接続する場合、アダプターが必要になることがあります。詳細については、Appleにお問い合わせいただくか、AppleのWebサイトをご覧ください。

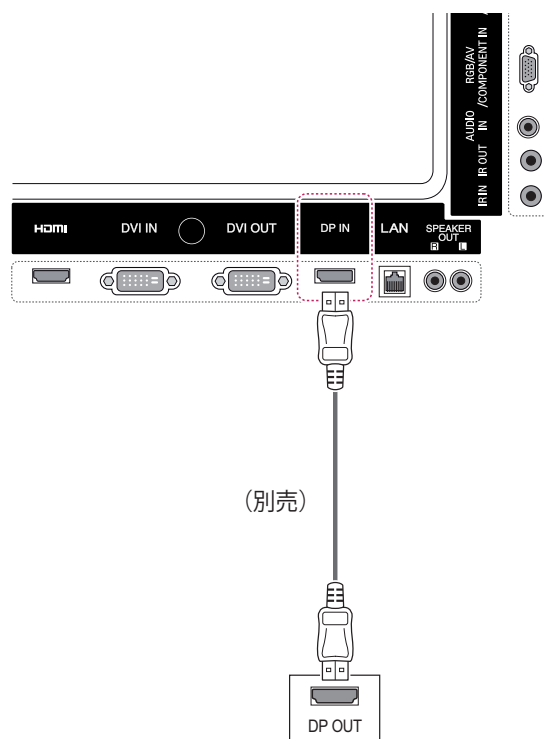
HDMI接続

PCから本機にデジタル映像信号およびオーディオ信号を送送します。PCと本機をHDMIケーブルで接続します。



Display Port接続

PCから本機にデジタル映像信号および音声信号を送送します。下図のように、PCと本機をDisplayPortケーブルで接続します。

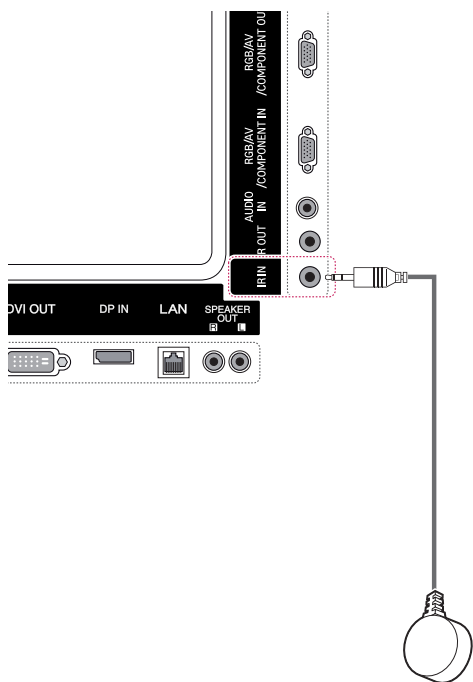


！ 注意

- 最新 High Speed HDMI ケーブルを使用してください。
- HDMI接続時に音声が聞こえない場合は、PC側の音声設定を一度ご確認ください。一部のPCでは、HDMI出力時の音声出力を手動で変更する必要があります。
- HDMIケーブルでPCを接続した場合は、リモコンのInput（入力切替）からPCを選択してください。
- HDMIでのPC接続時は、画面の解像度や画面サイズが正常に見えないことがあります。

IRレシーバー接続

有線リモコンまたはIRレシーバーの延長ケーブルを使用できるようにします。



！ 注意

- 電源ケーブルが取り外されている状態で接続してください。

画質を設定する

映像モードの設定

プリセット映像モードのいずれかを選択して、画質を設定できます。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[映像]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[映像モード]にスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して好みの映像モードにスクロールし、OKを押します。

モード	説明
あざやか	コントラスト、明るさ、カラー、および鮮明度を高めることによって、よりあざやかな映像にします。
標準	標準的な使用環境に合わせて映像を調整します。
シネマ	映画を見るときに適した画質にします。
スポーツ	白や緑、青色などを強調し、スポーツなどを見るときに適した力強くダイナミックな映像にします。
ゲーム	EXIT（決定）を押して、設定を完了します。

- 5 完了したら、EXIT（終了）を押します。前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

画質の詳細設定

画質の詳細設定を行います。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューを表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[映像]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[映像モード]にスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して好みの映像モードにスクロールし、OKを押します。
- 5 次のオプションを選択および調整してから、OKを押します。

オプション	説明
バックライト	液晶画面のバックライトの明るさを調整します。バックライトの調整は、画面の明るさを設定するときにおすすめです。バックライトを下げると、ビデオ信号が失われることなく黒の明るさが暗くなり、消費電力が低下します。
コントラスト	映像の明るい部分と暗い部分のコントラストを調整します。
明るさ	映像全体の明るさを調整します。
シャープネス	映像の鮮明度（シャープネス）を調整します。レベルを下げるとやわらかな映像に、上げるとくっきりとした映像になります。
カラー	映像の色の濃さを調整します。
色合い	赤と緑のレベルのバランスを調整します。
色温度	レベルを下げると赤味が強い色に、上げると緑（黄色味）が強い色になります。
詳細設定	詳細設定項目を設定します。
初期化	各モードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 6 EXIT（決定）を押して、設定を完了します。前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

PCの画質を調整する

最適な画質を得るために、各映像モードのオプションをカスタマイズします。

- この機能は、PCを本機のRGB入力端子に接続した場合にのみ操作できます。
- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューを表示します。
 - 2 ナビゲーションボタンを押して[映像]にスクロールし、OKを押します。
 - 3 ナビゲーションボタンを押して[画面調整]にスクロールし、OKを押します。
 - 4 次のオプションを選択および調整してから、OKを押します。

オプション	説明
解像度	映像の解像度を切り換えます。
自動画面調整	画面の[位置]、[大きさ]、および[フェーズ]を自動的に調整します。自動調整の実行中は、表示される映像が数秒間不安定になります。
位置/大きさ/フェーズ	映像がぼやけたり、文字などが鮮明に表示されない場合は、これらの項目を調整します。
リセット	各モードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 5 EXIT（決定）を押して、設定を完了します。前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

音声を設定する

サウンドモードの設定

プリセット音声モードを選択して、音声を調整できます。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューを表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[音声]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[サウンドモード]にスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して好みの音声モードにスクロールし、OKを押します。

モード	説明
スタンダード	どんなジャンルにも合うように標準的に調整された音質です。
音楽	音楽に適した音質で楽しむことができます。
シネマ	映画に適した音質で楽しむことができます。
スポーツ	スポーツに適した音質で楽しむことができます。
ゲーム	ゲームに適した音質で楽しむことができます。

- 5 EXIT（決定）を押して、設定を完了します。前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

サウンドモードの詳細設定

サウンドモードの詳細設定を行います。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューを表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[音声]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[サウンドモード]にスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して目的のサウンドモードにスクロールし、OKを押します。
- 5 次のオプションを選択および調整してから、OKを押します。

オプション	説明
インフィニットサウンド	2つのスピーカーで、臨場感あふれる5.1chサラウンドサウンドを再現します。
高音	高音をコントロールします。
低音	低音をコントロールします。
初期化	各サウンドモードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 6 EXIT（決定）を押して、設定を完了します。前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

機器設定

画面サイズ

リモコンの[ARC]ボタンを押して、映像の表示サイズを変更できます。



注意

- 画面に同じ画像を長時間表示すると、その画像が画面に焼き付き、画質を損なうおそれがあります。このような焼き付き現象については、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 画面サイズを長時間4：3に設定していると、画面の両端などに映像の焼き付きが発生する場合があります。

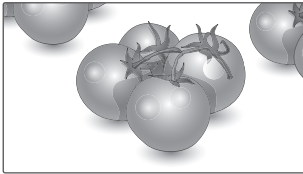


注意

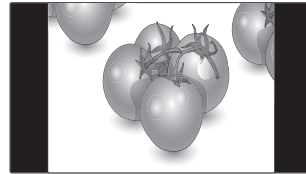
- メインメニューを表示して映像の表示サイズを変更することもできます。
- 映像信号の解像度が720p以上の場合は、[ジャストスキャン]モードで動作します。

モード \ ARC	外部入力	コンボイネント	RGB		Display Port		DVI-D		HDMI	
			PC	TV	PC	TV	PC	TV	PC	PC
16:9	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
ジャストスキャン	x	o	x	o	x	o	x	o	x	x
1:1	x	x	o	x	o	x	o	x	o	o
4:3	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
ズーム	o	o	x	o	x	o	x	o	x	x
シネマズーム	o	o	x	o	x	o	x	o	x	x

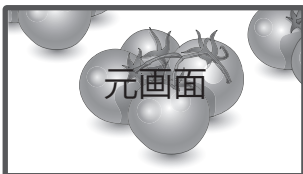
- **[16 : 9]** : アスペクト比で画面を16 : 9として調整し画面全体が表示されるようにします。



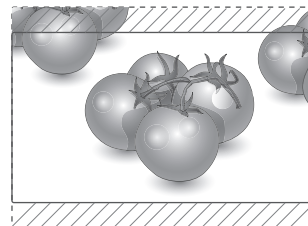
- **[4 : 3]** : 画面を4:3サイズで表示したい場合に選択します。



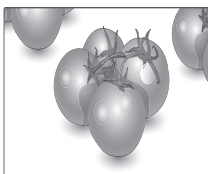
- **[ジャストスキャン]** : 通常、ビデオ信号のエッジは1%~2%カットされます。ジャストスキャンはこのトリミング機能をオフにし、もとのままの映像を表示します。
メモ：もとの映像信号の周辺部にノイズなどがある場合、ジャストスキャンモードに設定していると、そのノイズが表示される場合があります。



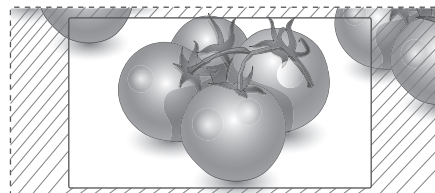
- **[ズーム]** : 画面の縦横比率を変化させないで、画面中央を中心として画面全体を拡大/縮小させたり、画面全体を上下に移動させる場合にズームを選択します。



- **1:1** : 画面サイズは元のサイズのままです (DisplayPort PC、HDMI PC、DVI-D PC、RGB PCのみ)



- **[シネマズーム]** : 映像を正しい縦横比で拡大する場合にシネマズームを選択します。
メモ：映像を拡大または縮小するときに映像が歪む場合があります。



入力切換

入力モードの選択

- 1 INPUT（入力切換）を押して入力切換リスト表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押していずれかの入力を選択し、OK（完了）を押します。

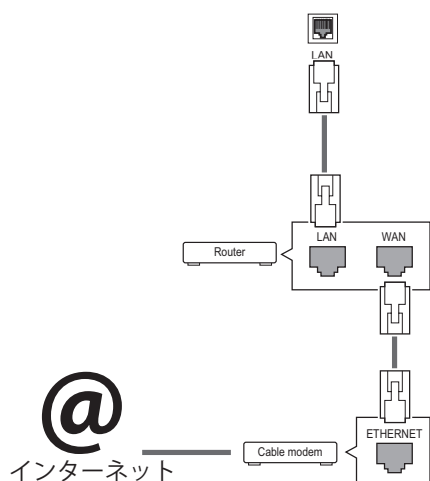
入力	説明
外部入力 (CVBS)	ビデオ入力に切り換えます。
コンポーネント	コンポーネント入力を使用する外部機器やデジタルセットトップボックスのコンテンツを表示します。
RGB	画面にPCディスプレイを表示します。
Display Port	PC、DVD、デジタルセットトップボックス、その他高解像度機器のコンテンツを表示します。
DVI-D	画面にPCディスプレイを表示します。
HDMI	PC、DVD、デジタルセットトップボックス、のHDMI入力を使用する外部機器のコンテンツを表示します。
USB	USBに保存されているマルチメディアファイルを再生します。

その他の操作

有線LANに接続する

(モデルごとに異なります)

次の図に示すように、LANポートを使用してローカルエリアネットワーク（LAN）にディスプレイを接続し、ネットワーク設定を行います。本機は、有線ネットワークの接続のみに対応します。物理接続を行った後に、一部のホームネットワークでは別途のネットワーク設定が必要になる場合があります。ほとんどの場合、別途の設定がなくてもホームネットワークは自動的に認識されます。詳細については、インターネットプロバイダーにお問い合わせいただくか、ルーターの取扱説明書を参照してください。



ネットワーク設定を行います（すでにネットワークが自動的に接続されている場合でも、この操作は行うことができます）。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、OKを押します。
- 4 [IP自動設定]または[IP手動設定]を選択します。
 - [IP手動設定]を選択している場合は、ナビゲーションボタンおよび数字ボタンを押して、IPアドレスを手動で入力します。
 - [IP自動設定]：有線接続経由のローカルエリアネットワーク（LAN）上にDHCPサーバー（ルーター）がある場合に選択します。ディスプレイは自動的にIPアドレスに割り当てられます。DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能を持つブロードバンドルーターまたはブロードバンドモデムを使用している場合、IPアドレスは自動的に割り当てられます。
- 5 完了したら、EXIT（終了）を押します。

注意

- ・ モジュラー式の電話ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- ・ ネットワークの接続には、本書で説明しているやり方以外の接続方式も多くあります。必要に応じて、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーにご相談ください。

注意

- ・ ネットワーク設定メニューは、ディスプレイが物理ネットワークに接続されるまで使用できません。
- ・ ネットワークの接続には、本書で説明しているやり方以外の接続方式も多くあります。必要に応じて、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーにご相談ください。

！ メモ

- ディスプレイでインターネットに直接アクセスする場合は、インターネット接続を常にする必要があります。
- インターネットにアクセスできない場合は、ネットワーク上のPCでネットワーク状態を確認します。
- [ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっているお問い合わせいただくか、
- ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワーク機能が適切に動作しない場合があります。

ネットワーク設定のヒント

- ディスプレイには、標準のLANケーブルを使用してください（RJ45コネクタを備えたカテゴリ5以上のケーブルなど）。
- 設定時に生じたホームネットワーク接続の問題の多くは、ルーターまたはモデムをリセットすることで解決する場合があります。ディスプレイを
ホームネットワークに接続したら、ホームネットワークルーターまたはケーブルモデムの電源をすぐにオフにするか、電源ケーブルを取り外してください。その後、電源をオンにするか、電源ケーブルを接続し直します。
- インターネットサービスプロバイダー（ISP）によっては、インターネットサービスを受けることのできるデバイス数が、適用されるサービス条件によって制限されている場合があります。詳細については、ISPにお問い合わせください。
- 当社は、インターネット接続またはその他の接続機器に関連する通信エラーや不具合が原因で生じた、ディスプレイやインターネット接続機能の誤作動の責任は負いません。
- 当社は、インターネット接続により生じた損害・損傷の保証はいたしかねます。
- アクセスするコンテンツの要件をネットワーク接続速度が満たしていないと、期待どおりの結果が得られない場合があります。
- インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダー（ISP）が設定している特定の制限が原因で、一部のインターネット接続動作を実行できない場合があります。
- ISPによって請求される料金（接続料を含みますが、これに限定されません）は、お客様の負担となります。

- 本機からインターネットアクセスを行うには、常時接続（ブロードバンド）のインターネット契約が必要となります。また、市販のルーター接続が必要です。
- 接続ケーブル類の接続およびルーターの設定内容を確認し、本機の電源ケーブルをコンセントに入れてください。ネットワーク設定を正しく完了していない場合、ネットワーク動作が正しく機能しない場合があります。
- DSLサービスを使用するには、DSLモデムが必要です。ケーブルモデムサービスを使用するには、ケーブルモデムが必要です。ISPのアクセス方法およびISPとの加入者契約によっては、ディスプレイに含まれているインターネット接続機能を使用できない場合や、同時に接続できるデバイス数が制限される場合があります（ISPがサブスクリプションを1つのデバイスに制限している場合、PCがすでに接続されていると、ディスプレイを接続できない場合があります）。
- ISPのポリシーおよび制限によっては、ルーターの使用が許可されない場合や、ルーターの使用が制限されている場合があります。必要に応じて、ISPにお問い合わせください。

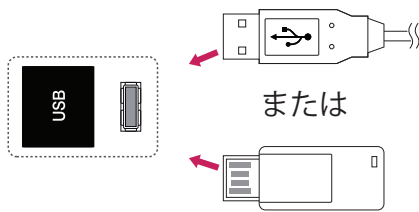
ネットワーク接続を確認する

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク状態]を選択します。
- 4 OKを押して、ネットワークの接続状態を確認します。
- 5 完了したら、EXIT（終了）を押します。

オプション	説明
設定	ネットワーク設定メニューに戻ります。
テスト	ネットワークを設定した後に、現在のネットワークステータスをテストします。
閉じる	前のメニューに戻ります。

USB機器を接続する

USBフラッシュメモリー、外付けハードディスクなどのUSBストレージデバイスをディスプレイに接続し、マルチメディア機能を使用します。下図のように、USBフラッシュメモリーまたはUSBメモリカードリーダーをディスプレイに接続します。[マイメディア]画面が表示されます。



注意

- マイメディアメニューを表示している間は、画面をオフにしたり、USBストレージデバイスを取り外したりしないでください。ファイルの損失やUSBストレージデバイスの破損が発生する場合があります。
- USBストレージデバイスに保存したデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめバックアップを行ってください。

USBストレージデバイスの使用のヒント

- 本機は、USBストレージデバイスのみ認識します。
- USBハブ経由でUSBストレージデバイスを接続した場合、デバイスは認識されません。
- 自動認識プログラムを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なります。
- 接続したUSBデバイスの動作中に、ディスプレイの電源をオフにしたり、USBデバイスを取り外したりしないでください。動作中のデバイスが突然外されると、保存されているファイルやUSBストレージデバイスが破損することがあります。
- PCなどで人為的に変更が加えられたUSBストレージデバイスを接続しないでください。製品の誤動作が発生したり、再生が失敗したりすることがあります。一般的な音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイルが保存されたUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- WindowsオペレーティングシステムのFAT32ファイルシステムまたはNTFSファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージデバイスのみを使用してください。Windowsでサポートされていないユーティリティプログラムでフォーマットされたストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 外部電源が必要なUSBストレージデバイス（0.5 A以上）には専用の電源を接続してください。専用の電源を接続しない場合、デバイスが認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスは、デバイスメーカーから提供されたケーブルを使用して接続してください。
- 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、円滑に動作しないことがあります。
- USBストレージデバイスのファイル配置方法はWindows XPに類似しており、ファイル名については、英字で100文字までが認識可能です。
- USBメモリデバイスに保存されたデータは破損するおそれがあるため、重要なファイルは必ずバックアップしてください。当社は、データの損失に対する責任は負いかねます。
- 電源アダプターを利用しての電源供給（セルパワール）に対応しないUSBストレージデバイスを接続する場合、本機に認識されないことがあります。必ず、外部電源を接続してください。

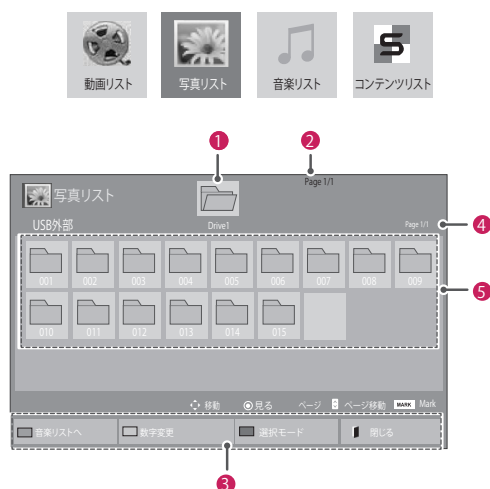
- 外部電源の接続時には、電源アダプターをご使用ください。

- USBメモリーデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合、最大で4つのパーティションまたはUSBメモリーデバイスを使用できます。
- USBメモリーデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USBメモリーデバイスが正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- USBメモリーデバイスの検出速度は、デバイスごとに異なります。
- USBがスタンバイモードで接続されている場合、ディスプレイの電源をオンにしたときに、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- 推奨される容量は、USB外部ハードディスクの場合は1 TB以下、USBメモリーの場合は32 GB以下です。
- 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- 「省エネモード」機能搭載のUSB外部ハードディスクが正常に動作しない場合は、ハードディスクの電源を一度入れ直してください。
- USB 2.0以前のUSBストレージデバイスにも対応しますが、動画リストでは正常に動作しないことがあります。
- 1つのフォルダー内では、最大999個のフォルダーまたはファイルが認識可能です。
- 正規のUSBストレージデバイスをご使用ください。デバイスが検出されなかったり、再生エラーが発生する場合があります。
- SuperSign Managerで配信・保存されているファイルを再生する場合、USBメモリースティックのみが使用できます。USBハードディスクまたはマルチカードリーダーでは機能しません。
- SuperSign Managerで配信・保存されているファイルは、FAT 32ファイルシステムでフォーマットされているストレージデバイスのみで再生できます。
- USB 3.0ストレージデバイスは正常に動作しないことがあります。

USB機器のファイルを確認する

写真、音楽、または動画のリストにアクセスし、ファイルを参照します。

- 1 USBストレージデバイスを接続します。
- 2 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 3 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して[動画リスト]、[写真リスト]、または[コンテンツリスト]から選択し、OK（完了）を押します。



番号	説明
①	上位のフォルダーに移動
②	現在のページ/総ページ数
③	対応するリモコンのボタン
④	現在のページ/フォーカスされたフォルダーの下にあるコンテンツの総ページ数 ①
⑤	フォーカスされたフォルダーの下にあるコンテンツ ①
ボタン	説明
緑ボタン	緑ボタンを押すと、[写真リスト]->[音楽リスト]、[音楽リスト]->[コンテンツリスト]、[コンテンツリスト]->[動画リスト]、または[動画リスト]->[写真リスト]に切り換わります。
黄ボタン	5つの大きなサムネイルまたは単純なリストで表示する方法です。
青ボタン	選択モードに切り替えます。

対応するファイル形式

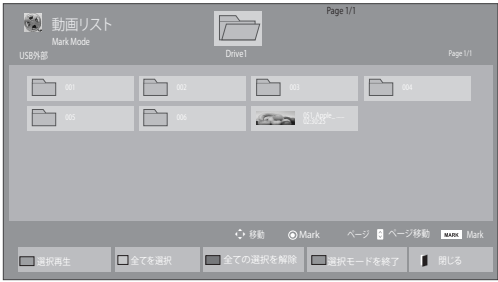
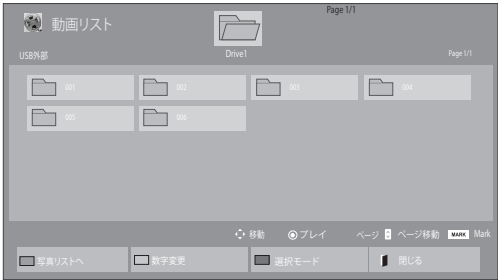
タイプ	対応するファイル形式
ムービー	DAT、MPG、MPEG、VOB、AVI、DIVX、MP4、MKV、TS、TRP、TP、ASF、WMV、FLV 映画 (*.mpg/*.mpeg/*.dat/*.ts/ *.trp/*.tp/*.vob/*.mp4/*.mov/*.mkv/*.divx/*.avi/ *.asf/*.wmv/*.flv/*.avi (motion-jpeg)/*.mp4 (motion-jpeg)/*.mkv (motion-jpeg)) ビデオ形式: DivX 3.11、DivX4、DivX5、DivX6、 Xvid 1.00、Xvid 1.01、Xvid 1.02、Xvid 1.03、 Xvid 1.10 beta1/beta-2、Mpeg-1、Mpeg-2、 Mpeg-4、H.264/AVC、VC1、JPEG、Sorenson H.263 オーディオ形式: Dolby Digital、AAC、Mpeg、 MP3、LPCM、HE-AAC、ADPCM、WMA ビットレート: 32 kbps~320 kbps (MP3) 外部字幕形式: *.smi/*.srt/*.sub (MicroDVD、 Subviewer1.0/2.0)/*.ass/*.ssa/*.txt (TMPlayer) /*.psb (PowerDivX) 内部字幕形式: XSUBのみ (これはDivX6ファイ ルで使用される字幕形式です)
写真	JPEG ベースライン: 64x64~15360x8640 プログレッシブ: 64x64~1920x1440 • 表示できるのはJPEGファイルのみです。 • サポートされていないファイルの場合、あら かじめ設定されたアイコンが代わりに表示 されます。
音楽	MP3 ビットレート32~320 • サンプリングレート (MPEG1レイヤ3) : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz • サンプリングレート (MPEG2レイヤ3) : 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz • サンプリングレート (MPEG2.5レイヤ3) : 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz

コンテンツ (Su- perSign Manager を使用す る場合)	ファイル拡張子: *.cts/*.cse ムービー ファイル拡張子: *.mpg/*.mpeg/*.dat/*.ts/ *.trp/*.tp/*.vob/*.mp4/*.mov/*.mkv/*.avi/ *.asf/*.wmv/*.avi (motion JPEG)/*.mp4 (motion JPEG)/*.mkv (motion JPEG) ビデオ形式: MPEG1、MPEG2、MPEG4、H.264/ AVC、DivX 3.11、DivX4、DivX5、DivX6、 Xvid 1.00、Xvid 1.01、Xvid 1.02、Xvid 1.03、Xvid 1.10-beta1/2、JPEG、VC1 (WVC1/WMV3) オーディオ形式: MP2、MP3、Dolby Digital、 LPCM、AAC、HE-AAC、LPCM、ADPCM、WMA、MP3		
	ファイル 拡張子	項目	プロファイル
	写真 JPEG JPG PNG BMP	対応する ファイル 形式	• SOF0: ベース ライン • SOF1: 拡張 シーケンシャル • SOF2: プログ レッシブ
		写真サイズ	• 最小 64 x 64 • 最大タイプ: 1366 x 768
音楽	MP3	ビットレート	32 ~320 kbps
		サンプリング レート	32 kHz、44.1 kHz、 48 kHz (MPEG1 L3) 16 kHz、22.05 kHz、 24 kHz (MPEG2 L3) 8kHz、11.025 kHz、 12 kHz (MPEG2.5 L3)

動画の再生

動画コンテンツを再生します。画面には、USBス
トレージデバイスまたはPC上の共有フォルダー
に保存されたすべての動画ファイルが表示されま
す。

- 1 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]
にスクロールし、OKを押します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[動画リスト]に
スクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的のフォル
ダーにスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して目的のファイ
ルにスクロールし、OKを押します。



メニュー	説明
選択再生	選択されている動画ファイルを再生します。動画ファイルの再生が終了すると、選択された次の動画ファイルが自動的に再生されます。
全てを選択	画面上のすべての動画ファイルを選択します。
全ての選択を解除	選択されているすべての動画ファイルの選択を解除します。
選択モードを終了	選択モードを終了します。

5 動画を再生します。

！ メモ

- 対応しないファイル形式は、アイコンでのみプレビューを確認できます **F5**。
- 対応しないファイル形式は、ビットマップ形式で表示されます **F5**。

6 次のボタンを使用して、再生をコントロールします。



ボタン	説明
	再生を停止します。
	ビデオを再生します。
	再生を一時停止または再開します。
	ファイル内を後方向にスキャンします。
	ファイル内を前方向にスキャンします。
MENU (メニュー)	[オプション]メニューを表示します。
HIDE	全画面表示でメニューを非表示にします。
EXIT (終了)	[動画リスト]に戻ります。
[<]または[>]	再生中にファイル内の特定のポイントにスキップします。ステータスバーに特定のポイントの時間が表示されます。ファイルによっては、この機能が適切に動作しない場合があります。
ENERGY SAVING (e) (省エネモード)	ENERGY SAVING (省エネモード) ボタンを押すごとに画面の明るさが変わります。

動画ファイルの再生

- 字幕のファイル形式によっては、正常に表示されないことがあります。
- 一部の特殊文字は字幕では表示されないことがあります。
- HTMLタグは字幕では表示されません。
- サポートされていない言語の字幕は使用できません。
- オーディオ言語を変更するとスクリーンが一時的に乱れる（画像が停止する、再生速度が速くなるなど）が発生することがあります。
- 破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤー機能の一部が使用できないことがあります。
- 一部のエンコーダーで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- 録画ファイルの映像および音声信号がインターリーブ構造になっていない場合、映像と音声のいずれかのみが出力されます。
- HD映像ソースは、フレームに応じて、最大1920x1080@25/30Pまたは1280x720@50/60Pの表示に対応します。
- 解像度が1920 x 1080@25/30P以上の動画は、フレームにより正常に再生されない場合があります。
- 指定した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しないことがあります。
- 再生可能なムービーファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです（ただしMotion JPEGに限り10 Mbps）。
- H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたプロファイルについては、正常に再生されないことがあります。
- DTSオーディオコーデックには対応していません。
- 30 GBを超えるサイズの動画ファイルは再生できません。
- DivXの動画ファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーの下に格納してください。
- 動画のファイル名と字幕ファイル名が同じでないと、字幕は表示されません。
- 高速転送をサポートしていないUSB接続経由でビデオを再生すると、ビデオが正常に動作しないことがあります。
- GMC（Global Motion Compensation、グローバル動き補償）でエンコードされたファイルは再生できないことがあります。

- [動画リスト]機能を使用して動画を視聴しているときは、リモコンのEnergy Saving（省エネモード）ボタンで映像を調整できます。このとき、映像モードなどの各種設定はご利用いただけません。

動画の再生設定

- 1 MENU（メニュー）を押してポップアップ動画メニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[Set Video Play.]、[Set Video.]、または[Set Audio.]にスクロールし、OKを押します。

！ メモ

- [動画リスト]で変更した設定は、[写真リスト]および[音楽リスト]には反映されません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更した設定は、[写真リスト]および[音楽リスト]でも同様に反映されますが、[動画リスト]には反映されません。
- 動画ファイルの再生を停止した後にもう一度再生すると、停止した時点から再生できます。

[Set Video Play.]を選択する場合

- 1 ナビゲーション ボタンを押してスクロールし、[画面サイズ]、Audio Language [オーディオ言語]、Subtitle Language [字幕言語]または[繰り返し]を表示します。
- 2 ナビゲーション ボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

メニュー	説明
画面サイズ	動画の再生時に使用する映像の形式を選択します。
Audio Language (オーディオ言語)	動画の再生時に使用するオーディオの言語を変更します。オーディオトラックが単一のファイルでは選択できません。
Subtitle Language (字幕言語)	字幕の表示と非表示を切り替えます。
Language (言語)	字幕の言語を切り替えます。
Code Page	字幕のフォントを選択できます。デフォルトに設定すると、一般メニューと同じフォントが使用されます。
同調	動画の再生時の字幕の同調を調整します。-10秒から+10秒まで0.5秒刻みで調整できます。
Position	動画の再生時の字幕の位置を上下に移動します。
大きさ	動画の再生時使用する字幕のサイズを選択します。

Repeat (繰り返し)	動画再生の繰り返し機能のオンとオフを切り替えます。オンにした場合は、フォルダー内のファイルが繰り返し再生されます。繰り返し再生がオフになっている場合でも、ファイル名が前のファイルと似ている場合は再生される場合があります。
---------------	--

Code Page	サポート言語
Latin1	英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スウェーデン語、フィンランド語、オランダ語、ポルトガル語、デンマーク語、ルーマニア語、ノルウェー語、アルバニア語、ゲール語、ウェールズ語、アイルランド語、カタルーニャ語、バレンシア語
Latin2	ボスニア語、ポーランド語、クロアチア語、チェコ語、スロバキア語、スロベニア語、セルビア語、ハンガリー語
Latin4	エストニア語、ラトビア語、リトアニア語
Cyrillic	ブルガリア語、マケドニア語、ロシア語、カザフ語
Greek	ギリシャ語
トルコ語	トルコ語

！ メモ

- 字幕ファイルでは、同調ブロック10,000個まで使用できます。
- 動画の再生時は、RATIO（縦横比）ボタンを押して画面サイズを調整できます。
- お客様の言語の字幕は、OSDメニューもその言語になっている場合にのみサポートされます。
- コードページオプションは、字幕ファイルの言語によっては無効となる場合があります。
- 字幕ファイルに対応したコードページを選択してください。

[Set Video.]を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

[Set Audio.]を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、[サウンドモード]、[クリアーボイス I]または[サウンドバランス]を表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

写真の再生

USBストレージデバイスに保存されている画像ファイルを表示します。画面での表示は、このモデルとは異なる場合があります。

- 1 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[写真リスト]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダーにスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルにスクロールし、OKを押します。



メニュー	説明
選択再生	選択した写真ファイルが表示されます。
全てを選択	画面上のすべての写真ファイルを選択します。
全ての選択を解除	選択されているすべての写真ファイルの選択を解除します。
選択モードを終了	選択モードを終了します。

- 5 写真を表示します。

！ メモ

- 対応しないファイル形式は、アイコンでのみプレビューを確認できます。
- 対応しないファイル形式は、ビットマップ形式で表示されます。

写真の再生設定

写真の再生中に、次の操作ができます。



操作メニュー 選択した写真の数

オプション	説明
■ スライドショー	選択した写真によるスライドショーを開始または停止します。 選択した写真がない場合は、現在のフォルダーフォルダーに保存されているすべての写真がスライドショーで表示されます。 スライドショーの速度および表示モードを設定するには、[Option (オプション)]を選択します。
■ BGM	バックグラウンドミュージックのオン/オフを切り替えます。バックグラウンドミュージックフォルダーを設定するには、[オプション]を選択します。 オプションは、リモコンのMENU (メニュー) ボタンで調整できます。
🔄 回転	写真を時計回りで回転させます (90度、180度、270度、360度)。 ！ メモ サポートされる写真サイズには制限があります。回転される幅の解像度が、サポートされている解像度サイズよりも大きい場合、写真を回転することはできません。
🔍 ズーム	画像を200%または400%に拡大します。 ！ メモ 画像サイズが960 × 540ピクセル以上の場合、400%にのみズーム可能です。

🔋 省エネモード	省エネモードボタンを押すごとに、画面の明るさを変更できます。
MENU オプション	Slide Speed (スライドスピード) : スライドショーの速度 ([Fast (速い)], [Medium (中間)], [Slow (遅い)]) を選択します。 TransitionEffect (切り替え効果) : スライドショーの表示モードを設定します。 BGM : バックグラウンドミュージック用の音楽フォルダーを選択します。 ！ メモ - バックグラウンドミュージックの再生中に音楽フォルダーを変更することはできません。 - 現在写真を表示しているデバイスに保存されているMP3フォルダーのみを選択できます。
👁️ 隠し	操作メニューを非表示にします。再び操作メニューを表示するには、OKを押します。
🔼 閉じる	[写真リスト]に戻ります。

写真オプション

- 1 MENU (メニュー) を押して[オプション]メニューを表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[Set Photo View. (写真表示の設定)], [Set Video.], または[Set Audio.]にスクロールし、OKを押します。

！ メモ

- [動画リスト]で変更した設定は、[写真リスト]および[音楽リスト]には反映されません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更したオプション値は、[写真リスト]および[音楽リスト]にも同様に反映されます。[動画リスト]には反映されません。

[Set Photo View (写真表示の設定)] を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、Slide Speed (スライドスピード)、Transition Effect (切り替え効果)、またはBGMを選択します。
- 2 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

Transition Effect (切り替え効果) オプション

オプション	説明
Sliding (スライド)	現在のスライドがスライディングするようにして閉じ、次のスライドに切り替わります。 
Stairs (ステア)	現在のスライドと次のスライドが、階段状の境界線で徐々に切り替わります。 
Door Open/Close (ドアオープン/クローズ)	現在のスライドがドアが開閉するようにして閉じ、次のスライドに切り替わります。 
Shutter (シャッター)	現在のスライドがブラインドが下りるようにして閉じ、次のスライドに切り替わります。 
Fade In (フェードイン)	現在のスライドが徐々にフェードアウトして、次のスライドに切り替わります。 

[Set Video.]を選択した場合

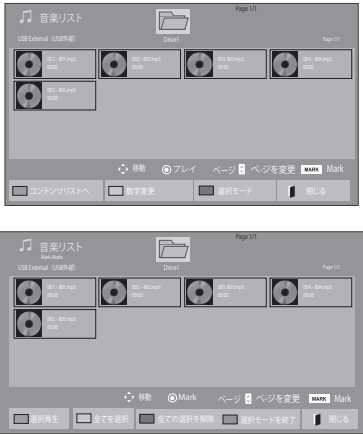
- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

[Set Audio.]を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、[サウンドモード]、[クリアーボイス II]または[サウンドバランス]を表示します。
- 2 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

音楽の再生

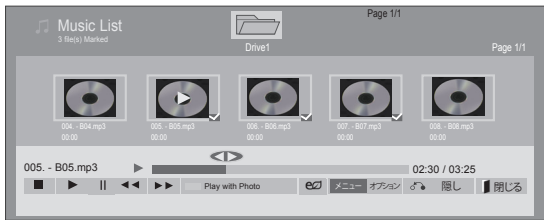
- 1 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[音楽リスト]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダーにスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルにスクロールし、OKを押します。



メニュー	説明
選択再生	選択した音楽ファイルが表示されます。
全てを選択	画面上のすべての音楽ファイルを選択します。
全ての選択を解除	選択されているすべての音楽ファイルの選択を解除します。
選択モードを終了	選択モードを終了します。

- 5 音楽を再生します。

6 再生中は、下記の操作ができます。



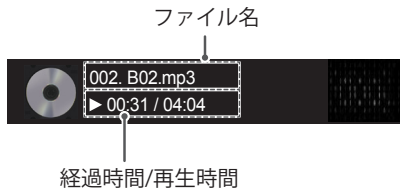
ボタン	説明
◀	ファイルの再生を停止し、音楽リストに戻ります。
▶	音楽ファイルを再生します。
⏸	再生を一時停止または再開します。
⏭	次のファイルにスキップします。
⏮	前のファイルにスキップします。
⏮または⏭	再生中に押すと、以下のようになります。 ⏮ボタンを押すと、前の音楽ファイルが再生されます。 ⏭ボタンを押すと、次の音楽ファイルが再生されます。
緑ボタン	選択した音楽ファイルの再生を開始してから、[写真リスト]に移動します。
⏻ (省エネモード)	ENERGY SAVING (省エネモード) ボタンを繰り返し押すと、スクリーンの明るさを変更できます。
メニュー	[オプション]メニューを表示します。
隠し	操作メニューを非表示にします。再び操作メニューを表示するには、OKを押します。
閉じる	音楽プレーヤーが表示されているときに[閉じる]ボタンを押すと、音楽のみが停止し、プレーヤーは通常の表示に戻りません。 音楽が停止しているとき、または音楽プレーヤーが非表示のときに[閉じる]ボタンを押すと、プレーヤーは通常の表示に戻ります。
[<]または[>]	再生中に<ボタンまたは>ボタンを押すと、位置を示すカーソルが表示されます。

音楽ファイル再生のヒント

- 本機は、MP3ファイルに組み込まれたID3タグは認識しません。

！ メモ

- 対応しないファイル形式は、アイコンのみでプレビューを確認できます。
- 対応しないファイル形式は、ビットマップ形式で表示されます。
- 破損した音楽ファイルは再生されず、再生時間は00:00と表示されます。
- 有料サービスなどからダウンロードされた、著作権により保護される音楽ファイルは再生されなかったり、不正確な情報が表示される場合があります。
- OKボタンまたは◻ ボタンを押すと、スクリーンセーバーが停止します。
- このモードでは、リモコンの再生(▶)、一時停止(⏸)、◻、⏭、⏮のボタンも使用できます。
- ⏭ボタンを押すと次の曲を、⏮ボタンを押すと前の曲を選択できます。



音楽オプション

- 1 MENU（メニュー）を押してポップアップメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[Set Audio Play.]または[Set Audio.]にスクロールし、OKを押します。

！ メモ

- [動画リスト]で変更したオプション値は、[写真リスト]および[音楽リスト]には影響しません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更した設定内容は、[写真リスト]および[音楽リスト]でも同様に変更されます。[動画リスト]は変更されません。

[Set Audio Play.]を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、[繰り返し]または[Random]を選択します。
- 2 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

[Set Audio.]を選択した場合

- 1 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、[サウンドモード]、[クリアーボイス II]または[サウンドバランス]を選択します。
- 2 ナビゲーションボタンを押してスクロールし、適切な調整を行います。

コンテンツリストの表示

SuperSign Managerの[Export(エクスポート)]オプションを使用して、保存されているファイルを再生します。

- 1 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[コンテンツリスト]にスクロールし、OK（完了）を押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダーにスクロールし、OKを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルにスクロールし、OKを押します。



！ メモ

- コンテンツリストからメディアファイルを再生している間、BACK（戻る）、EXIT（終了）、またはVolume（音量）ボタンのみ利用できます。
- USBデバイスにAutoPlayフォルダーがあり、また、保存されたファイルが本機の対応するファイル形式である場合は、USBデバイスを本機に接続したとき、自動的に再生できます。

DivX® VODを再生する

DivX® VODの登録

購入またはレンタルしたDivX®VODコンテンツを再生するには、デバイスからwww.divx.com/vodにアクセスし、10桁のDivX登録コードを入力してデバイスを登録する必要があります。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 3 青ボタンを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して[DivX登録コード]にスクロールし、OKを押します。
- 5 ディスプレイの登録コードを表示します。
- 6 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

！ メモ

- 登録コードの確認中、一部のボタンが一時的に動作しないことがあります。
- 別のデバイスのDivX登録コードを使用している場合、レンタルまたは購入したDivXファイルを再生できません。ご使用のモニター製品に割り当てられているDivX登録コードを使用してください。
- 標準DivXコーデックで変換されていない動画ファイルや音声ファイルは、破損しているか、再生できないことがあります。
- DivX VODコードを使用すると、1つのアカウントで最大6つのデバイスをアクティブ化できます。



DivX® VODの登録解除

デバイスの登録を解除するには、デバイスから www.divx.com/vod にアクセスし、8桁のDivX登録解除コードを入力します。

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]にスクロールし、OKを押します。
- 3 青ボタンを押します。
- 4 ナビゲーションボタンを押して[非アクティブ化]にスクロールし、OKを押します。
- 5 ナビゲーションボタンを押して[はい]を選択して確定します。



- 6 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

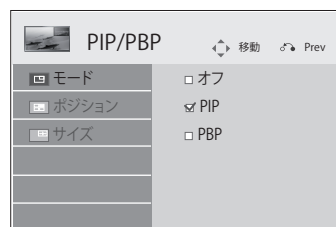
！ メモ

- 一度登録を解除してから、DivX(R) VODコンテンツを見るには、再度デバイスを登録する必要があります。

PIPとPBPを利用する

USBデバイスに保存されている動画または映像を、ひとつの画面でメイン画面とサブ画面に分割して再生します。(50ページ)

- 1 MENU（メニュー）ボタンを押して、[機器設定]に移動し、OKを押します。
- 2 [PIP/PBP]を押して[PIP]または[PBP]を選択し、[OK]を押します。



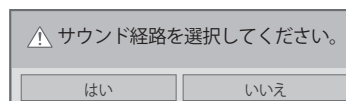
- 3 [マイメディア]から[動画リスト]または[写真リスト]を選択します。



- 4 目的のファイルを選択して、[OK]を押します。



- 6 音声の[メイン]または[サブ]を選択します。PIP またはPBP機能を実行する前に出力音声を選択する必要があります。



- 5 再生リストから[PIP]または[PBP]アイコンを選択します。



<動画リスト>

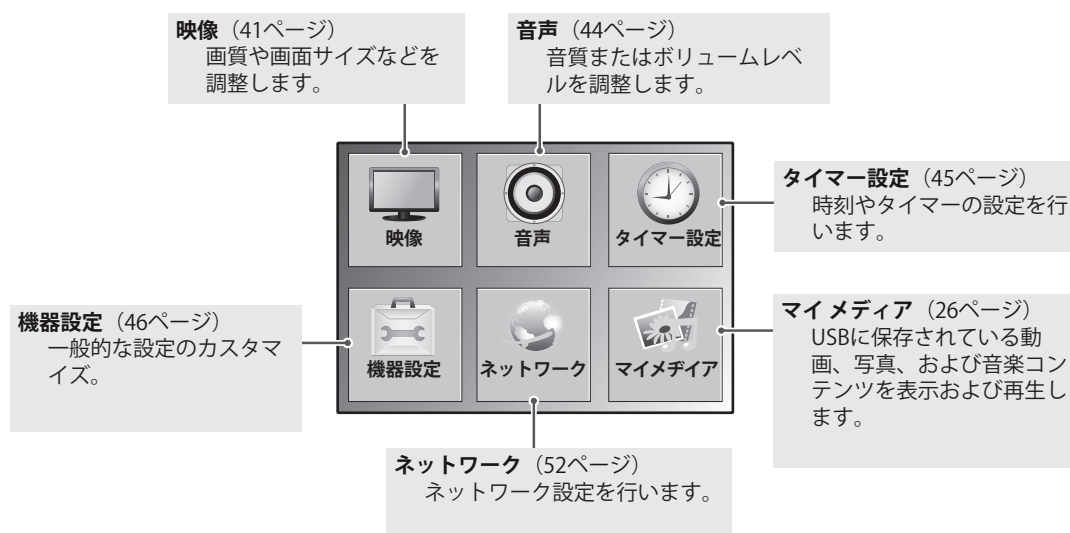
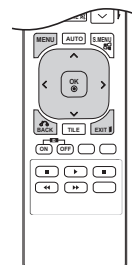


<写真リスト>

詳細設定

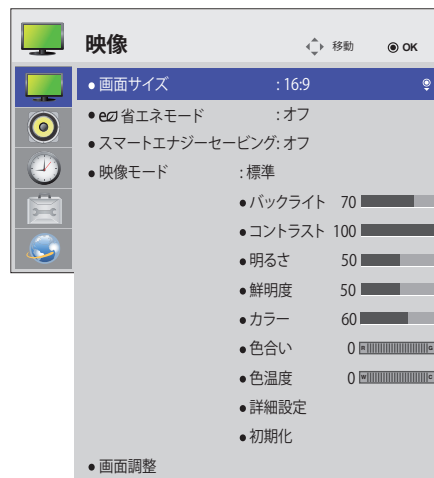
メインメニューを表示する

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して次のメニューのいずれかにスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。



映像設定

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[映像]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACK（戻る）を押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。



使用可能な映像設定は次のとおりです。

設定	説明
画面サイズ	映像を最適なサイズで表示するために、映像サイズを変更します（21ページ）。
e省エネモード	周囲に応じて画面の明るさを自動的に調整するために設定します。
	レベル
	自動 自動的に調整します。
	オフ 省エネモード機能を無効にします。
	低/中/高 バックライトの明るさレベルを選択します。
	スクリーンオフ 画面が約3秒後にオフになります。
スマートエナジーセービング	画面の明るさに応じて、バックライトとコントラストを調整します。
	レベル
	オフ スマートエナジーセービング機能を無効にします。
	オン スマートエナジーセービング機能を有効にして、消費電力を軽減します。
映像モード	好みの映像モードを選択したり、さらに詳細な画質設定を行うことができます。
	モード
	あざやか 明るい環境であざやかな映像を楽しむ場合に適したモードです。
	標準 リビングなどの通常の室内で楽しむ場合に適したモードです。ご家庭で使用するときの標準的な設定です。
	シネマ 暗くした環境で映画を楽しむ場合に適したモードです。映画館で映画を観賞するときの映像に近い設定です。
	スポーツ 白や緑、青色などを強調し、スポーツなどを視聴する際に適した力強くダイナミックな映像を表示します。
	ゲーム テレビゲームを楽しむ場合に適したモードです。テレビゲームの映像に適した応答速度に設定しています。

設定	説明
画面調整 (RGB-PC 接続時のみ)	RGBモードでPCディスプレイ設定を調整します。
	オプション
	解像度 適切な解像度を選択します。
	自動画面調整 画面の位置、時刻、およびフェーズを自動的に調整するために設定します。自動調整の実行中は、表示される映像が数秒間不安定になります。
	位置/大きさ/フェーズ 自動調整後の映像が鮮明でなく、特に文字が揺れている場合は、これらのオプションを調整します。
	リセット 設定した内容を工場出荷時の設定に戻します。

映像モードの詳細設定

設定	説明
バックライト	液晶画面のバックライトの明るさを調整します。バックライトの調整は、画面の明るさを設定するときにおすすめです。バックライトを下げると、ビデオ信号が失われることなく黒の明るさが暗くなり、消費電力が低下します。
コントラスト	映像の明るい部分と暗い部分のコントラストを調整します。
明るさ	映像全体の明るさを調整します。
鮮明度	映像の鮮明度を調整します。レベルを下げるとやわらかな映像に、上げるとくっきりとした映像になります。
カラー	映像の色の濃さを調整します。
色合い	赤と緑のレベルのバランスを調整します。
色温度	肌色に注目して、色合いを調整します。レベルを下げると赤味が強い肌色に、上げると緑（黄色味）が強い肌色になります。
詳細設定	詳細設定項目を設定変更します。
初期化	各モードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

！ メモ

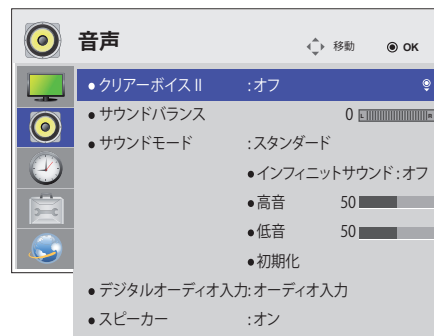
- [映像]メニューの[映像モード]設定が [あざやか]、[標準]、[シネマ]、[スポーツ]、[ゲーム]に設定すると、それぞれのモードに合わせて詳細設定が自動的に変更されます。
- RGB-PC/HDMI-PCモードでカラーおよび色合いを調整することはできません。
- スマートエナジーセービング機能を使うと、静止画の状態では白い領域が飽和ヨンされて見えることがあります。
- 省エネモードを[低]、[中]、[高]に設定すると、スマートエナジーセービング機能が無効になります。

映像の詳細設定

設定	説明
ダイナミック コントラスト (オフ/低/中/高)	映像の内容に応じてコントラストを自動的に調整します。この機能は、AV (CVBS) および Component接続時にのみ使用可能です。
ダイナミックカラー (オフ/中/高)	映像の内容に応じてコントラストを自動的に調整します。この機能は、AV (CVBS) および Component接続時にのみ使用可能です。
クリアホワイト (オフ/中/高)	映像の内容に応じてあざやかになるよう映像の白い部分を自動的に調整します。
肌色補正	肌色/緑色/青色について色合いを調整します。
ノイズ除去 (オフ/低/中/高)	ノイズリダクションの効果が切り替わります。強くするほどノイズを抑えます。オフでは機能しません。(この機能は、AV (CVBS) およびComponentでのみ使用可能です)。
デジタルノイズ除去 (オフ/低/中/高)	このオプションによって、デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズが軽減されます。
ガンマ (低/中/高)	映像の暗い部分と明るい部分のグラデーションのバランスを調整します。
ブラックレベル (低/高)	» 低：映像が暗くなります。 » 高：映像が明るくなります。 この機能は、コンポーネント、HDMI、およびDVI-Dの各モードで動作し、画面の黒レベルを使用して画面のコントラストと明るさを調整します。

音声設定

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[音声]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACK（戻る）を押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。



使用可能な音声設定は次のとおりです。

設定	説明
クリアーボイスII	人の声の音域を他の音声から区別することで、会話をより明瞭にします。
サウンドバランス	室内環境に応じて、左右のスピーカーのバランスを調整します。
サウンドモード	モード
	スタンダード どんなジャンルにも合うように標準的に調整された音質です。
	音楽 音楽の再生などに適した音質に設定します。
	シネマ 映画の視聴などに適した音質です。
	スポーツ スポーツ観戦などに適した音質です。
	ゲーム テレビゲームを楽しむときなどに適した音質です。
デジタルオーディオ入力	HDMI/DisplayPort：HDMIおよびディスプレイポートのデジタル信号の音声を、モニタースピーカーから出力します。 Audio In：HDMIおよびDisplayPortをAUDIO-IN端子に接続して、モニタースピーカーから音声を出力します。
スピーカー	オン：本機のスピーカーから音声を出力します（スピーカーは別売りです）。 オフ：本機のスピーカーから音声出力されないようにします。外部サウンド機器などを接続する際に設定します。

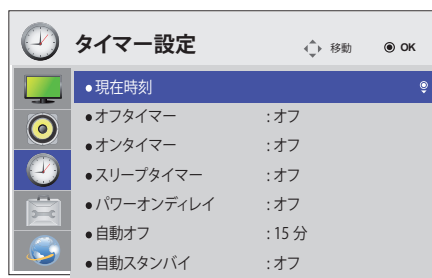
サウンドモードの詳細設定

設定	説明
インフィニットサウンド	より立体感のあるサウンドにします。
高音	高音域を調整します。より出力の高い周波数範囲になります。
低音	低音域を調整します。より出力の低い周波数範囲になります。
初期化	各モードの設定を工場出荷時の設定に戻します。

タイマー設定

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[時間]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACK（戻る）を押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

この操作では、次の操作ができます。



設定	説明
現在時刻	時刻機能を設定します。
オフタイマー/ オンタイマー	本機の電源をオンまたはオフにする時間を設定します。
スリープタイマー	本機の電源がオフになるまでの時間を設定します。本機の電源をオフにしてから再度オンにした場合、スリープタイマーはオフに設定されます。
パワーオンディレイ	複数のディスプレイ機器を接続して電源を入れるときに、各機器の電源が時間差で入るように設定し、過負荷状態になることを防ぎます。
自動オフ	約15分間入力信号がない場合、電源が自動的にオフになります。
自動スタンバイ	本機の操作が約4時間以上なかった場合、自動的に待機（スタンバイ）状態に切り換わります。

！ メモ

- オン／オフタイマーは最大7つのスケジュール予約に対して設定でき、設定された時間に動作します。
予約リストに複数のタイマーが設定されている場合は、現在の時刻からもっとも近いタイマーから動作します。
- このタイマー設定メニューでのスケジュール機能は、本機の時計が正しく設定されている場合にのみ正常に動作します。
- スケジュールされたオン／オフタイマーの時刻が同じ場合は、本機の電源がオンになっている状態ではオフタイマーが、電源がオフになっている状態ではオンタイマーが動作します。
- [自動オフ]および[自動スタンバイ]機能は、機種により対応していない場合があります。

機器設定

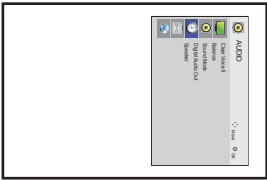
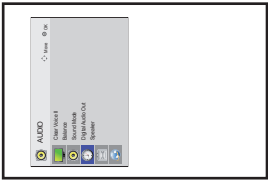
- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[機器設定]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACK（戻る）を押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。

使用可能なオプション設定は次のとおりです。



設定	説明				
言語(Language)	本機のメニュー言語を選択します。				
残像防止	PC/ビデオゲームの静止画を画面に長時間表示したままにしておく、画像を変更しても残像が残ることがあります。静止画を画面に長時間表示したままにしないでください。				
	設定				
	標準	焼き付きが生じる可能性が低いと見込まれる場合は、標準に設定します。			
	移動	残像が生じないように、2分ごとに画像が動きます。			
	反転	30分ごとに、パネルの色を反転させます。			
	ホワイトウォッシュ	画面全体を白色に切り換えることにより、画面に生じた残像を軽減します。永久的に残ってしまった残像は、完全には取り除くことができない場合があります。			
DPM選択	DPM（Display Power Management）をオンに設定すると、無信号状態でスタンバイ（待機）状態に切り換わり、消費電力を軽減します。				
フェイルオーバー	入力信号がない場合、信号のある別の入力に自動的に切り替えます。				
	設定				
	オフ	入力元の自動切り替えをオフにします。			
	オート	現在の入力元からの映像信号がない場合、下記表の切り替わり順に沿って、映像信号のある別の入力元に切り替えます。			
	現在の入力元	試行1	試行2	試行3	試行4
	RGB	HDMI	DVI	DP	切り換え可能な映像信号がない場合は、現在の入力元がそのまま維持されます。
	DVI	HDMI	DP	RGB	
	HDMI	DVI	DP	RGB	
	DP	HDMI	DVI	RGB	
	マニュアル	自動切り替える入力元の順番を設定できます。設定した入力元に切り替え可能な映像信号がない場合は、現在の入力元がそのまま維持されます。			
初期化	工場出荷時の設定に戻す場合は、このオプションを選択します。				
セットID	複数のディスプレイ機器を接続する場合、製品ごとに固有なセットID番号を割り当てることができます（名前の割り当て）。ボタンを使用して番号（1〜255）を指定し、終了します。製品制御プログラムでは、割り当てられたセットIDを使用して各製品を個別に制御します。				

設定	説明	
タイルモード	タイルモード	この機能は、 - 複数のディスプレイ機器と合わせての使用中に動作します。 - 分配器またはRS-232Cを利用してRGBケーブルで接続されているときに動作します。 タイルモードを選択し、セットIDを入力して位置を設定します。 *最後にSETボタンを押すことで、設定した内容が正常に反映されます。 - タイルモード： 行x列（行=1～15、列= 1～15） - 15x15まで使用できます。
	自動画面調整	画面を自動的に調整します。この設定は、アナログ信号の入力時にのみ動作します。
	位置	画面の位置を水平または垂直に移動します。
	大きさ	本機のフレーム部の幅に合わせて、画面の水平および垂直方向のサイズを調整します。
	ナチュラル	映像が自然に見えるように、パネル間の距離に合わせて映像の一部が省かれます。
	リセット	タイル表示を解除します。
	 メモ ・ タイルモードの表示中は、スマートエナジーセービングなどの省エネ関連の自動設定が無効となり、ディスプレイ機器間に同等の画質になるよう調整されます。	
PIP/PBP	USBデバイスに保存されている映像を、1台のモニターでメイン画面とサブ画面に分割して再生します。	
	オプション	
	モード	サブ画面のタイプを設定します。 * オフ：サブ画面を無効にします。 * PIP（ピクチャーインピクチャー）：メイン画面の中にサブ画面を表示します。 * PBP（ピクチャーバイピクチャー）：メイン画面の横にサブ画面を表示します。
	ポジション	サブ画面の位置を調整します（左上、左下、右上、右下）デフォルト値は右下です。
	サイズ	サブ画面のサイズを調整します（サイズ：0～10）。 PIPのデフォルトのサイズ（0）は480x240、最大のサイズは10で960x540です。
	 メモ ・ [ポジション]と[サイズ]オプションは、PIPモードでのみ有効になります。	

設定	説明
キーロック	本機の操作ボタンを制御します。この設定が有効な場合、本体の操作ボタンは機能しません。
Interface Select	RS232C 接続されているPCとシリアルモードで通信します。
PC Power Control	この機能は、本製品ではご利用いただけません。
USB Content Recovery	コンテンツの再生中に電源がオフになってしまった場合、再度オンになった時に再びそのコンテンツを再生します。 (この機能は、USBを一度取り外してから再度接続した場合も同様に動作します。)
製品/サービス情報	モデル名、ソフトウェアバージョン、シリアル番号、IPアドレス、MACアドレス、およびホームページが表示されます。
ポートレートモード	画面を時計回りに回転(90°、270°)します。
	オプション
	90° 画面を時計回りに90°回転します。
	270° 画面を時計回りに270°回転します。
	 

タイルモード

本機と合わせて複数のディスプレイ機器をタイルのように並べて配置することで、さらに大きなサイズのタイルディスプレイを表示できます。

•オフ:

[タイルモード] 機能を利用しない

•1X2:

2台のモニターを使用する場合



タイルID

•2X2:

4台のモニターを使用する場合



•3X3:

9台のモニターを使用する場合



•4X4:

16台のモニターを使用する場合



•5X5:

25台のモニターを使用する場合



タイルモード - ナチュラル

通常は、各ディスプレイ機器のフレームに隠れて表示されない部分がないよう、本来の映像をそれぞれのフレームから少しずつ切り離して表示します。この設定が有効な場合、フレームに合わせて映像を切り離すことなく、隠れる部分はそのまま非表示にし、より自然な映像を表示します。

適用前



適用後



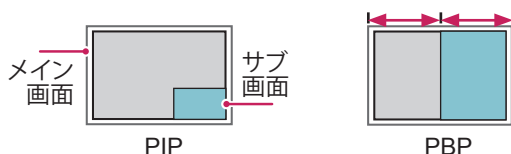
PIP/PBP

USBデバイスに保存されている動画または写真を、ひとつの画面でメイン画面とサブ画面に分割して再生します（38ページ）。

モード

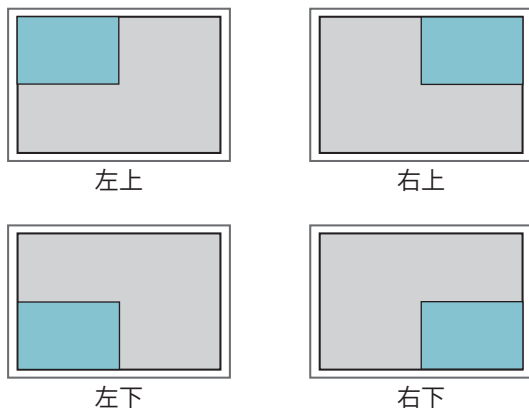
* PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）：メイン画面の中にサブ画面を表示します。

* PBP（ピクチャー・バイ・ピクチャー）：メイン画面の横にサブ画面を表示します。



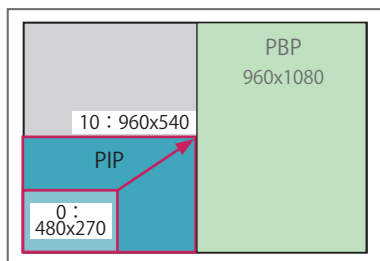
ポジション

サブ画面の位置を調整します（左上、左下、右上、右下）。



サイズ

サブ画面のサイズを調整します（サイズ：0～10）。



< 1920x1080 >

! 注意

- サブ画面はUSBデバイスを使用しているときのみサポートされます。

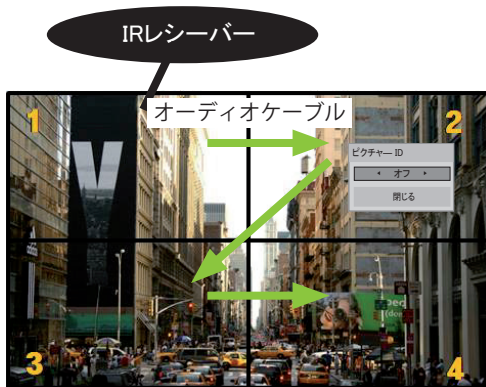
		サブ
		USB
メイン	コンポーネント	O
	RGB	O
	HDMI/DVI-D/DisplayPort	O
	外部入力	X

- サイズと位置はPIPモードでのみ変更可能です。
- PBPが選択されている場合は、映像メニューの[画面サイズ]オプションが無効です（16：9に固定）。
- PBP機能実行中は、タイルモード機能は動作しません。
- PIPまたはPBP機能を実行する前に出力音声を選択する必要があります（[メイン]または[サブ]を選択します）。
- 音声選択ボックスから[メイン]または[サブ]を選択できず、しばらくしてからOSDが非表示になる場合、または閉じるキーやBack（戻る）キーを押したことによりOSDが非表示になる場合は、PIP/PBPサブ画面が有効になっていません。
- PIPまたはPBP機能の実行中は音声を変更できません。音声を変更するには、PIP/PBPを再起動してください。
- サブ画面の画質は、USBデバイスではなく、メインメニューで設定した値に従って、設定されます。
- USB機器のコンテンツ再生中に本機の電源のオン／オフが切り替わっても、PIP/PBPモードは中断したところから再び再生されます。
- PIP/PBPモードで選択した動画を再生すると、動画は繰り返し連続して再生されます。
- 次のボタンはPIPモードで有効です。

ボタン	Photo (写真)	Movie (ムービー)
"<"	O	X
">"	O	X
▶	X	O
■	X	X
▶▶	X	O
◀◀	X	O
⏮	X	O

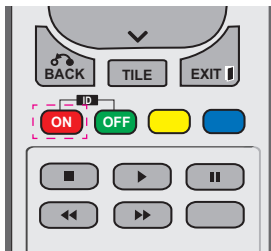
Picture IDを利用する

Picture IDは、マルチビジョン用のIRレシーバーを使用して特定のセット（ディスプレイ）の設定を変更する場合に使用します。IR信号を受信する機器は、RS-232Cコネクタ経由で別の機器と通信します。各機器は、セットIDにより識別されます。リモコンを使用してPicture IDを設定し、Picture IDとセットIDが一致するディスプレイ機器のみをリモコン操作できます。



2X2マルチビジョン（セットID数：4）
セットIDは、図のように割り当てられます。

- 1 リモコンの赤[ON(オン)]ボタンを押して、Picture IDを割り当てます。



- 2 左/右ボタンを押すか、[ON(オン)]ボタンを繰り返し押すと、Picture IDが[OFF(オフ)]から0-4と切り替わります。使用するIDを割り当てます。



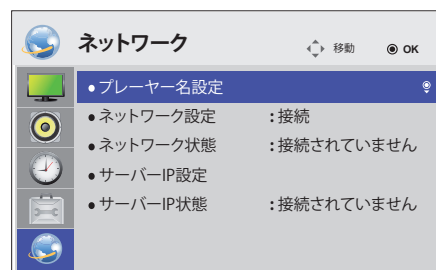
- マルチビジョンの各セットにセットIDを割り当ててから、リモコンの赤ボタンを使用してPicture IDを割り当てると、同じセットIDとPicture IDを持つ機器のキーコマンドが表示されます。セットIDとPicture IDが異なるセットは、IR信号で制御することはできません。
- セットIDの割り当てについては、46ページをご参照ください。
- Total Set IDの割り当ての詳細については、設置マニュアルをご参照ください。

！ メモ

- たとえば、Picture IDを2とすると、右上のディスプレイ（セットID：2）はIR信号で制御できます。
- 各セットについて、[映像]、[音声]、[時間]、[ネットワーク]、[マイメディア(マイメディア)]メニューの設定やリモコンのホットキーの設定を変更できます。
- Picture IDに対して緑[OFF(オフ)]ボタンを押すと、すべてのセットに対するそのPicture IDがオフになります。その後、リモコンのいずれかのボタンを押すと、すべてのセットが再び機能します。
- マイメディアメニューの使用時にはPicture IDが無効になります。

ネットワーク設定

- 1 MENU（メニュー）を押して、メインメニューにアクセスします。
- 2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]にスクロールし、OKを押します。
- 3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションにスクロールし、OKを押します。
 - 前のレベルに戻るには、BACK（戻る）を押します。
- 4 完了したら、EXIT（終了）を押します。
 - 前のメニューに戻るには、BACK（戻る）を押します。



使用可能なオプション設定は次のとおりです。

設定	説明
プレイヤー名設定	SuperSign Managerで使用するプレイヤー名を設定します（最大20文字）。 （SuperSign Managerソフトウェアは、付属のCDよりインストールできます。）
ネットワーク設定	ネットワーク設定を行います。
ネットワーク状態	ネットワークステータスを表示します。 - インタネットへ接続されています：外部ネットワークに接続している状態です。 - ホームネットワークに接続しました：ホームネットワーク環境にのみ接続しています。 - 接続されていません：ネットワークに接続していません。
サーバーIP設定	SuperSign ManagerがインストールされているPC（またはサーバー）のIPアドレスを設定します。
サーバーIP状態	サーバーとの接続状態を表示します。 - 接続されていません：SuperSignサーバーとのネットワーク接続が確立されていない場合 - 承認待機中：SuperSignサーバーとのネットワーク接続が確立しているが、サーバーへのアクセスがサーバーから承認されていない場合 - 拒否：SuperSignサーバーとのネットワーク接続が確立しているが、サーバーへのアクセスがサーバーから拒否された場合 - 接続されています：SuperSignサーバーとのネットワーク接続が確立しており、サーバーへのアクセスがサーバーから承認されている場合



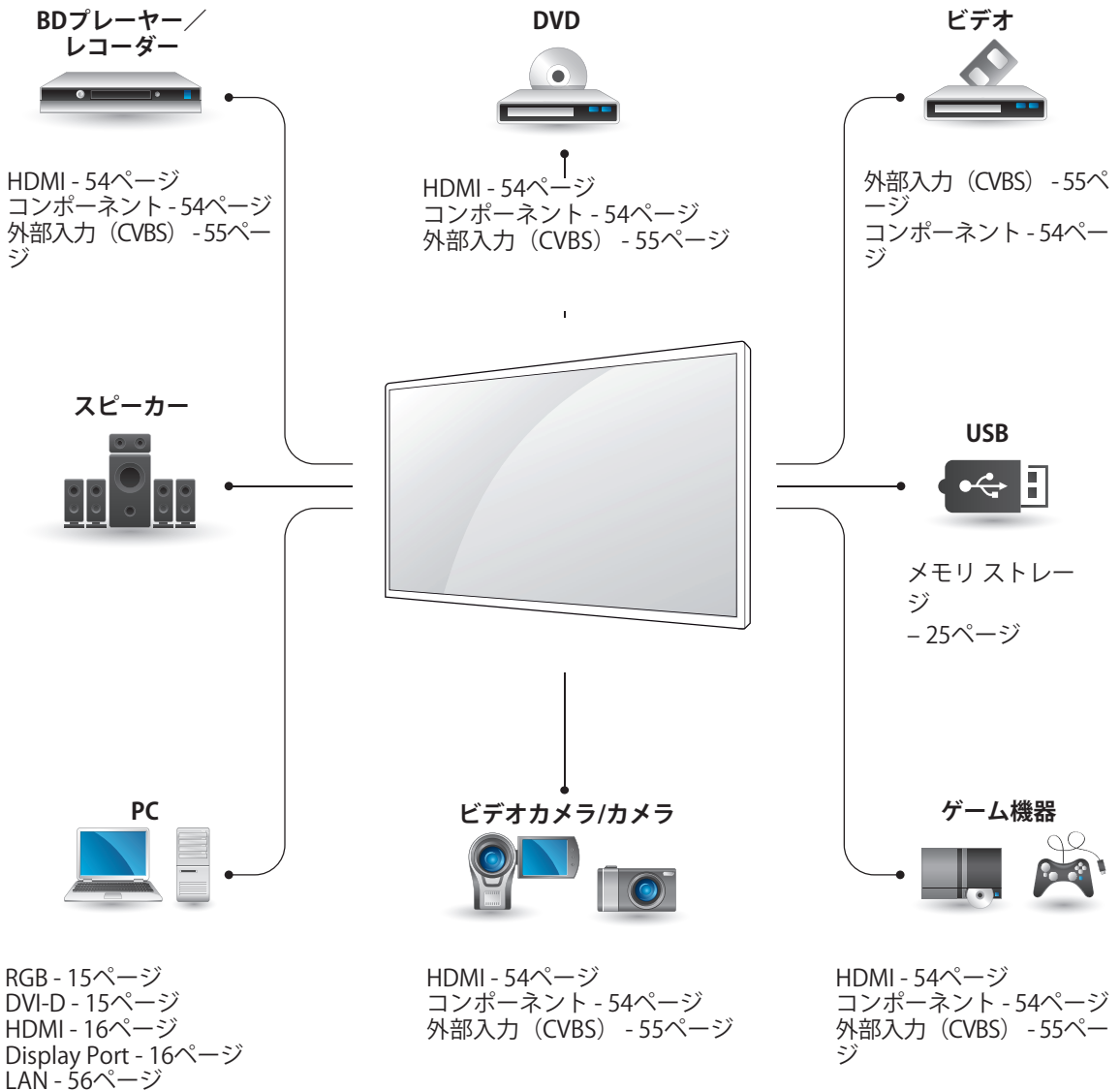
注意

- プレイヤー名の設定時に、リモコンボタンを連続して押し続けた場合、入力に遅延が発生することがあります。

外部機器を接続する

本機背面の接続端子に、それぞれの外部機器を接続します。

- 1 下図から、接続する外部機器を選択します。
- 2 接続する外部機器の接続タイプを確認します。
- 3 接続タイプに合わせて、接続の詳細をご確認ください。



! メモ

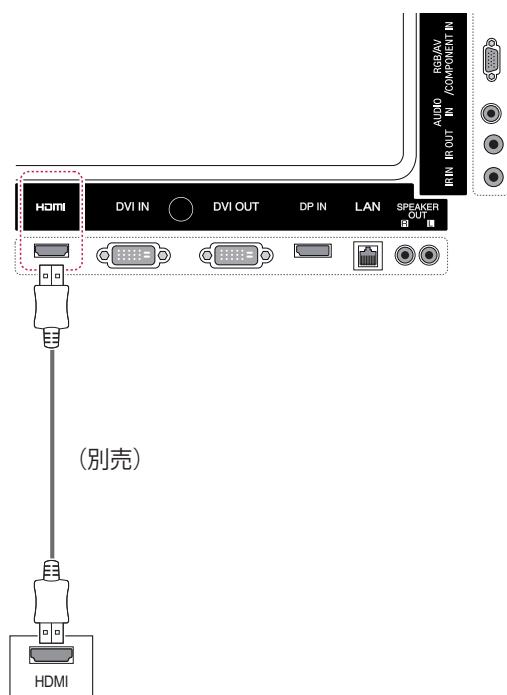
- 本機にゲーム機器などの外部機器を接続する場合は、その機器に付属されたケーブルをご利用ください。

BD・DVDプレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する

ビデオやDVDプレーヤーなどを再生するための接続です。

HDMI接続

HDMIケーブルで接続すると、高画質と高音質でお楽しみいただくことができます。本機のHDMI映像音声入力端子に接続してください。

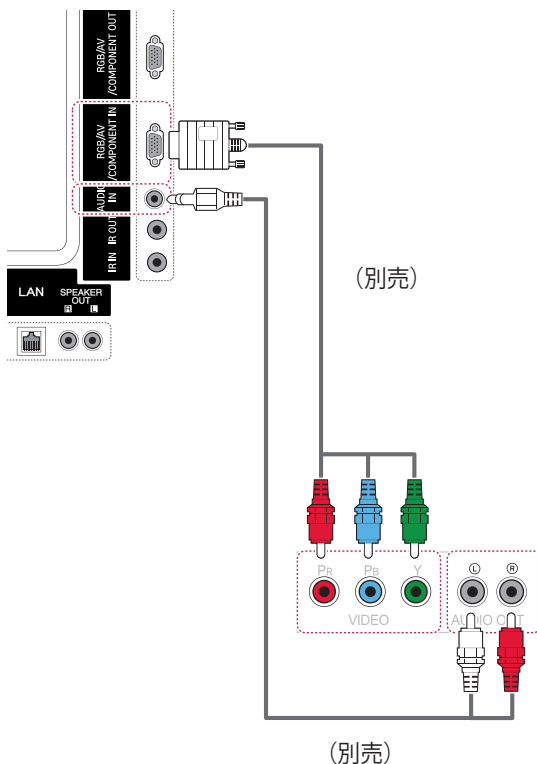


！ メモ

- 最新 High Speed HDMIケーブルを使用してください。
- High Speed HDMI ケーブルで 1080p 以上の送信が検証済みです。

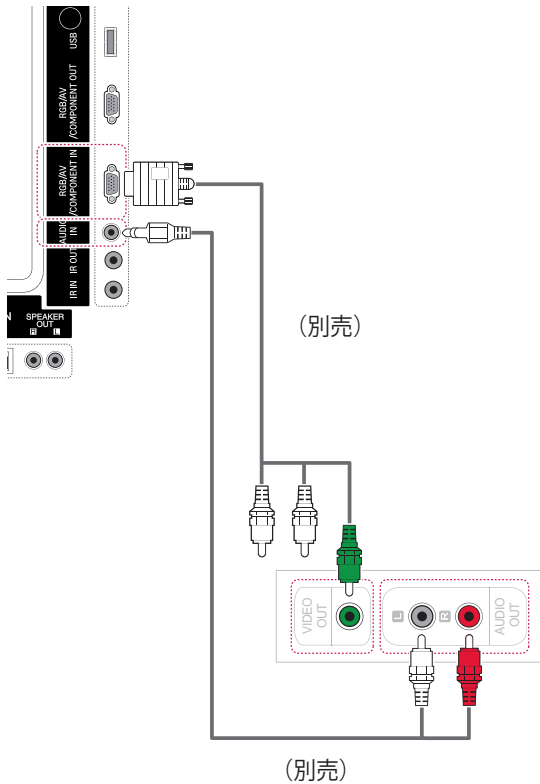
コンポーネント接続

外部機器から本機にアナログ映像信号および音声信号を送ります。下図のように、外部機器を本機背面のコンポーネント入力端子に接続します。



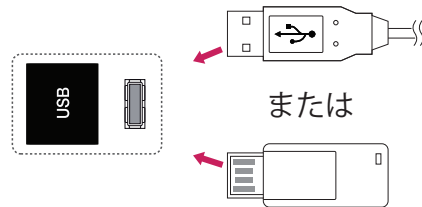
外部入力（CVBS）接続

外部機器から本機にアナログ映像信号および音声信号を送信します。下図のように、外部機器を本機背面の入力端子に接続します。



USBに接続する

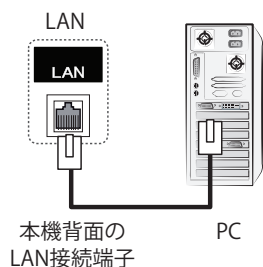
USBメモリー、外付けハードディスク、MP3プレーヤー、USBメモリーカードリーダーなどのUSB機器を本機に接続し、USBメニューにアクセスしてさまざまなマルチメディアコンテンツを表示できます。



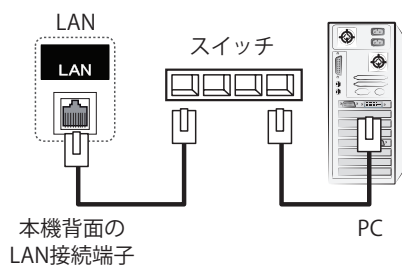
LANへの接続

LAN接続

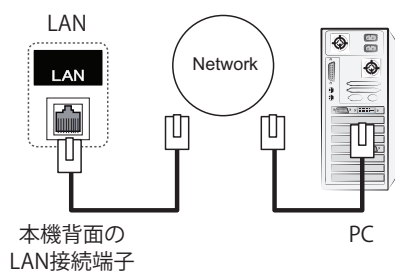
A PCとモニター直接接続します。



B ルーター（スイッチ）の使用



C インターネットの使用



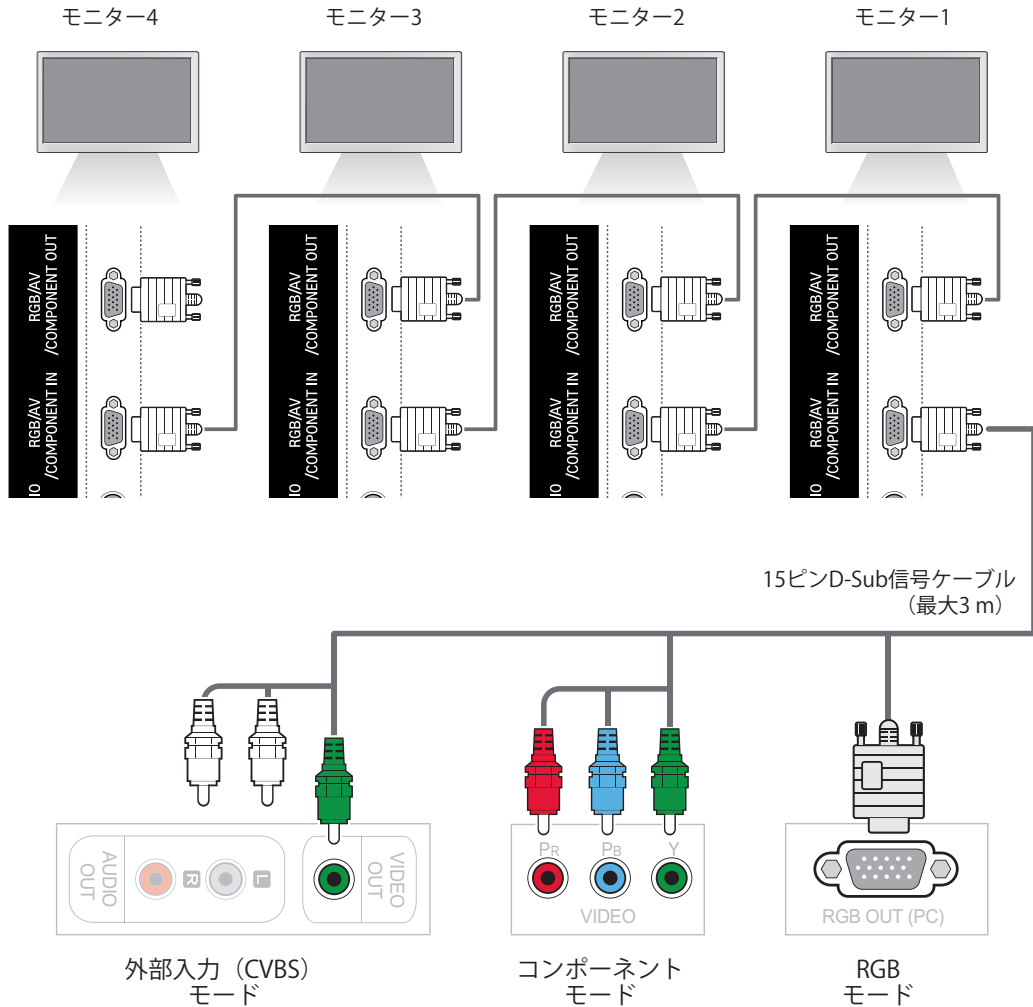
！ 注意

- LANを使用することでPCとモニター間の通信が可能になり、PC側のOSDメニューを使用することもできます。

複数のモニターを接続する（ダイジーチェーン）

この機能を使用すると、信号スプリッター装置を使用せずに、RGBビデオ信号を他のディスプレイ機器と共有できます。

- 異なる製品を相互に接続して使用するには、信号入力ケーブル（15ピンD-Sub信号ケーブル）の片方をセット1のRGB出力端子に接続し、残った方をセット2のRGB入力端子に接続します。



！ メモ

- 1つの出力に接続できるモニターの数、信号状態とケーブル損失によって変わります。信号状態が良好でケーブル損失がない場合、最大で9台のモニターを接続することができます。これより多くのモニターを接続したい場合は、分配器を使用することをお勧めします。
- 複数のモニターの入力/出力をカスケード方式で接続する場合は、損失のないケーブルをお勧めします。

困ったとき

映像が表示されない

このようなときは	ここをお調べください
製品の電源コードは接続されていますか？	電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認します。
「表示範囲を超えています」というメッセージは表示されますか？	PC（ビデオカード）からの信号が、製品の垂直周波数または水平周波数の範囲から外れています。この取扱説明書に記載されている仕様を参照して、周波数の範囲を調整します。 * 最大解像度 RGB、HDMI、DVI-D、Display Port：1920 x 1080 @ 60 Hz
「シグナルケーブルをチェック」というメッセージは表示されていますか？	- 本機とPCが、信号ケーブルで接続されていません。信号ケーブルを確認します。 - リモコンのINPUT（入力）メニューを押して入力信号を確認します。

製品の接続時に「Unknown Product（不明な製品）」などのメッセージが表示される

このようなときは	ここをお調べください
ドライバーをインストールしましたか？	- 付属の製品ドライバーをインストールします。 - ビデオカードの取扱説明書などから、プラグアンドプレイ機能がサポートされていることを確認します。

「キーロック中」のメッセージが表示される。

問題	解決策
Menu（メニュー）ボタンを押すと、「キーロック中」のメッセージが表示されます。	ロック機能により、本機の設定内容が不意に変更されないようにします。ロックを解除するには、[MENU（メニュー）]>[機器設定]の順に進み、キーロックを無効にします。

画面の映像が適切に表示されない

問題	解決策
画面の位置が不適切ですか？	- D-subアナログ信号 - リモコンのAUTO（自動）を押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[位置]を使用します。 - ビデオカードの解像度と周波数が製品でサポートされていることを確認します。周波数がサポート範囲から外れている場合、コントロールパネルの[画面]、[設定]メニューで推奨の解像度に設定します。
画面の背景に細い線が表示されますか？	D-subアナログ信号 - リモコンのAUTO（自動）ボタンを押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[時刻]を使用します。
水平方向のノイズが表示されます。または、文字がぼやけています。	D-subアナログ信号 - リモコンのAUTO（自動）ボタンを押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[フェーズ]を使用します。
画面が正常に表示されません。	適切な入力信号が信号ポートに接続されていません。ソース入力信号に合った信号ケーブルを接続します。

画面に残像が表示される

問題	解決策
製品の電源をオフにすると、残像が表示されます。	同じ画像を長期間使用していると、ピクセルが短期間でダメージを受ける可能性があります。スクリーンセーバー機能を使用してください。

オーディオが機能しない

問題	解決策
音が聞こえませんか？	• オーディオ ケーブルが適切に接続されていることを確認します。 • 音量を調整します。 • サウンドが適切に設定されていることを確認します。
音がクリアではありません。	• [クリア ボイスII]、[高音]および[低音]を適切に調整します。
音量が小さすぎます。	• 音量を調整します。

画面の色が正常ではない

このようなときは	ここをお調べください
画面の色の解像度が低くなっています（16色）。	• 24ビット（True Color）を超える色数に設定します。Windowsで、[コントロールパネル]、[画面]、[設定]、[画面の色]メニューを選択します。
画面の色が不安定またはモノクロで表示されます。	• 信号ケーブルの接続状態を確認します。または、PCのビデオ カードを取り付け直します。
画面に黒い点が表示されますか？	• 本機のご使用の際に赤、緑、青、白などの画素がまれに表示されることがありますが、これはLCDパネルの固有な特性によるもので、故障ではありません。

正常に動作しない

このようなときは	ここをお調べください
電源が突然オフになりました。	• スリープタイマーが設定されていませんか？ • 本機の設定メニューの「タイマー設定」→「自動オフ」などが設定されているかご確認ください。

仕様

42WS50MW

LCDパネル	画面タイプ	1067.31 mmワイド（42インチ）TFT（Thin Film Transistor） LCD（Liquid Crystal Display）パネル 表示領域の対角線サイズ：1067.31 mm
	ピクセル ピッチ	0.4845 mm（横） x 0.4845 mm（縦）
映像信号	最大解像度	RGB：1920 X 1080 @ 60 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	推奨解像度	RGB：1920 X 1080 @ 60 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	水平周波数	RGB：30 kHz～83 kHz HDMI、DVI-D、Display Port：30 kHz～83 kHz
	垂直周波数	RGB：56 Hz～75 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：56 Hz～60 Hz
	同期方法	セパレート同期、複合同期、デジタル
	入力コネクタ	15ピンD-SUB、HDMI、DVI-D、Display Port、RS-232C、LAN、USB、音声
電源	定格電圧	AC 100 V～、50/60 Hz、1.6 A
	消費電力	オン モード：160 W（最大） スリープ モード（RGB）：≤ 1 W スリープ モード（HDMI、DVI-D、Display Port） ：≤ 1 W（セットのみ） / ≤ 2 W（外部機器がある場合） オフ モード：≤ 0.5 W
環境条件	動作温度 動作湿度	0 ° C～40 ° C 10%～80%
	保管温度 保管湿度	-20 ° C～60 ° C 5%～95%

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

寸法（幅 x 高さ x 奥行） / 質量		
	961.6 mm x 554.5 mm x 31.9 mm / 13.6 kg	
		
	961.6 mm x 628.9 mm x 298.3 mm / 15 kg	
		
	961.6 mm x 554.5 mm x 81.5 mm / 14.4 kg	
		
	961.6 mm x 628.9 mm x 298.3 mm / 15.8 kg	

* スピーカーの仕様（対応機種のみ）

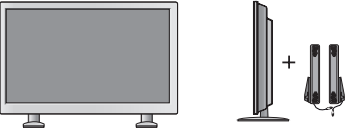
音声	RMSオーディオ出力	10 W + 10 W（R + L）
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	8 Ω

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

47WS50MW

LCDパネル	画面タイプ	1192.87 mmワイド（47インチ）TFT（Thin Film Transistor） LCD（Liquid Crystal Display）パネル 表示領域の対角線サイズ：1192.87 mm
	ピクセル ピッチ	0.5415 mm（横） x 0.5415 mm（縦）
映像信号	最大解像度	RGB：1920 X 1080 @ 60 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	推奨解像度	RGB：1920 X 1080 @ 60 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	水平周波数	RGB：30 kHz～83 kHz HDMI、DVI-D、Display Port：30 kHz～83 kHz
	垂直周波数	RGB：56 Hz～75 Hz HDMI、DVI-D、Display Port：56 Hz～60 Hz
	同期方法	セパレート同期、複合同期、デジタル
	入力コネクタ	15ピンD-SUB、HDMI、DVI-D、Display Port、RS-232C、LAN、USB、音声
電源	定格電圧	AC 100 V～、50/60 Hz、1.8 A
	消費電力	オン モード：165 W（最大） スリープ モード（RGB）：≤ 1 W スリープ モード（HDMI、DVI-D、Display Port） ：≤ 1 W（セットのみ） / ≤ 2 W（外部機器がある場合） オフ モード：≤ 0.5 W
環境条件	動作温度	0 ° C～40 ° C
	動作湿度	10%～80%
	保管温度 保管湿度	-20 ° C～60 ° C 5%～95%

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

寸法（幅 x 高さ x 奥行） / 質量		
	1071.8 mm x 616 mm x 31 mm / 15.6 kg	
		
	1071.8 mm x 690.4 mm x 298.3 mm / 16.9 kg	
		
	1071.8 mm x 616 mm x 80.6 mm / 16.5 kg	
		
	1071.8 mm x 690.4 mm x 298.3 mm / 17.8 kg	

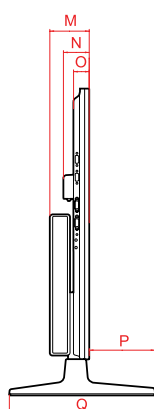
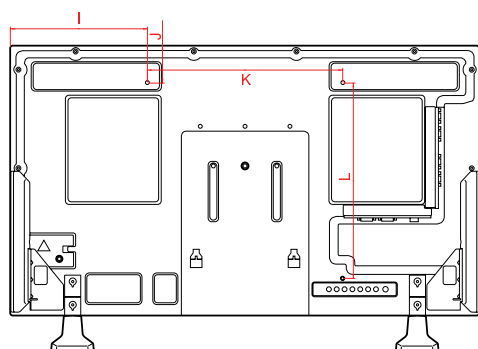
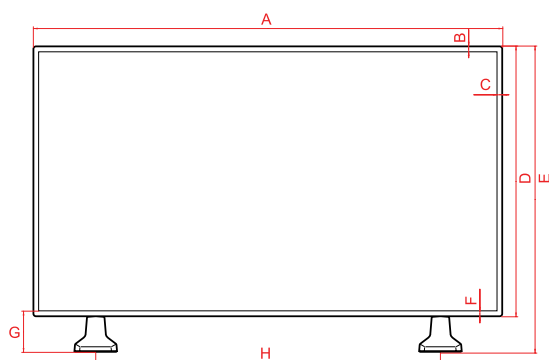
* スピーカーの仕様（対応機種のみ）

音声	RMSオーディオ出力	10 W + 10 W（R + L）
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	8 Ω

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

寸法

実際の製品および付属品の外見は、この図とは異なることがあります。
ネジのサイズについては、「壁に取り付ける」をご参照ください。(11ページ)



(単位：mm)

	42WS50MW	47WS50MW
A	961.6	1071.8
B	11.5	11.5
C	11.5	11.5
D	554.5	616
E	628.9	690.4
F	11.5	11.5
G	85.9	85.9
H	706	804
I	280.8	335.9
J	77.3	108
K	400	400
L	400	400
M	81.5	80.6
N	52.6	52.6
O	31.9	31.0
P	134.7	135.6
Q	298.3	298.3

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

RGB (PC) サポート モード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.469	70.8
720 x 400	31.468	70.8
640 x 480	31.469	59.94
640 x 480	37.5	75
800 x 600	37.879	60.317
800 x 600	46.875	75
832 x 624	49.725	74.55
1024 x 768	48.363	60
1024 x 768	60.123	75.029
1280 x 720	44.772	59.855
1366 x 768	47.7	60
1280 x 1024	63.981	60.02
1280 x 1024	79.98	75.02
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60

TVモード

解像度	コンポーネント	HDMI、Display Port (DTV)
480i	o	x
576i	o	x
480p	o	o
576p	o	o
720p	o	o
1080i	o	o
1080p	o	o

HDMI、DVI-D、Display Port (PC) サポート モード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60
1280 x 720	44.772	59.855
1366 x 768	47.7	60
1280 x 1024	63.981	60.02
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60

! メモ

- HDMIまたはDisplay Port入力では、PC/TVモードを選択できます。PCに接続する場合はPCモードに、その他の機器を接続する場合はTVモードに選択します。

! メモ

- 垂直周波数：製品ディスプレイで映像を見る場合、蛍光灯のように、画面の映像を毎秒数十回切り替える必要があります。垂直周波数、つまり、リフレッシュ速度は、1秒あたりに映像が表示される回数を表しています。単位はHzです。
- 水平周波数：水平方向の間隔は、1本の横線を描画するためにかかる時間です。1を水平方向の間隔で除算すると、毎秒表示される横線の本数を、水平周波数として表現できます。単位はkHzです。

IRコード

コード (16進)	機能	注意
95	ENERGY SAVING (e)	R/Cボタン
08	POWER (⏻) オン/オフ	R/Cボタン
0B	INPUT	R/Cボタン
C4	MONITOR ON (モニターオン)	R/Cボタン (不連続IRコード)
C5	MONITOR OFF (モニターオフ)	R/Cボタン (不連続IRコード)
43	MENU	R/Cボタン
40	上 (↑)	R/Cボタン
41	下 (↓)	R/Cボタン
07	左 (←)	R/Cボタン
06	右 (→)	R/Cボタン
44	OK (⊙)	R/Cボタン
28	BACK (⏮)	R/Cボタン
5B	EXIT	R/Cボタン
4D	PSM	R/Cボタン
02	ボリューム ▲ (+)	R/Cボタン
03	ボリューム ▼ (-)	R/Cボタン
09	MUTE	R/Cボタン
E0	BRIGHTNESS ^ (PAGE Up)	R/Cボタン
E1	BRIGHTNESS v (PAGE Down)	R/Cボタン
10~19	数字キー0~9	R/Cボタン
72	赤キー (ID ON)	R/Cボタン
71	緑キー (ID OFF)	R/Cボタン
63	黄キー	R/Cボタン
61	青キー	R/Cボタン
7B	TILE	R/Cボタン
5A	外部入力 (CVBS)	不連続IRコード
BF	コンポーネント	不連続IRコード
D5	RGB	不連続IRコード
CE	Display Port	不連続IRコード
C6	DVI-D	不連続IRコード
E9	HDMI	不連続IRコード
76	ARC (4:3)	不連続IRコード
77	ARC (16:9)	不連続IRコード
AF	ARC (ズーム、シネマ ズーム1)	不連続IRコード
79	ARC (MARK)	R/Cボタン (不連続IRコード)
99	自動画面調整	R/Cボタン (不連続IRコード)
B1	■	R/Cボタン
B0	▶	R/Cボタン
BA	⏸	R/Cボタン
8F	◀	R/Cボタン
8E	▶	R/Cボタン

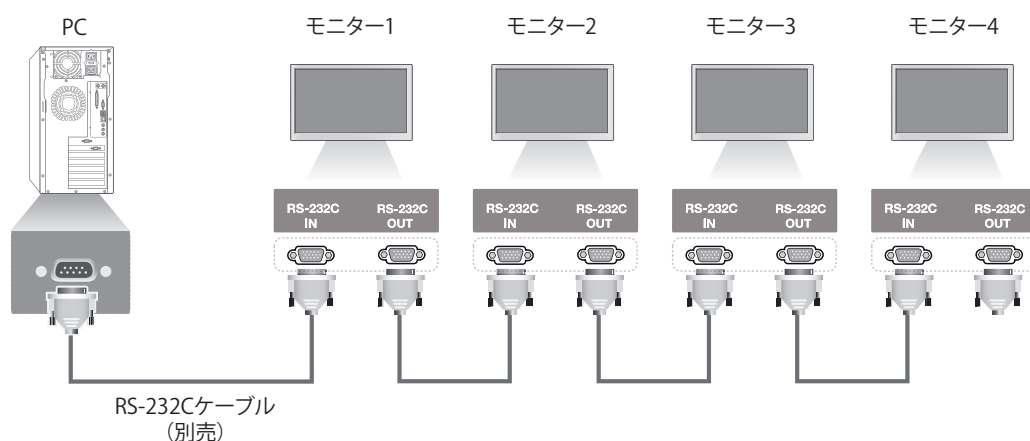
RS-232Cで接続する

- この方法を使用して、複数のディスプレイ機器を1台のPCに接続し、制御することができます。
- オプションメニューでは、セットIDは1から255の範囲で、重複がないようにする必要があります。

ケーブルの接続

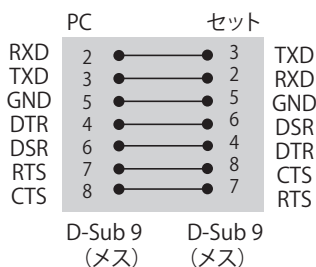
図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

- PCとディスプレイ機器の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。ディスプレイ機器の電源オン/オフ、入力ソースの選択、OSDメニューの選択などをPCから操作できます。

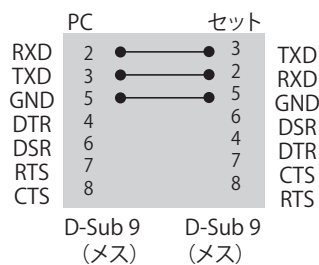


RS-232C構成

7線構成 (標準RS-232Cケーブル)



3線構成 (非標準)



通信パラメーター

- ボーレート：9600 bps (UART)
- データ長：8ビット
- パリティビット：なし
- ストップビット：1ビット
- フロー制御：なし
- 通信コード：ASCIIコード
- クロス (リバーズ) ケーブル使用

コマンドリファレンスリスト

		COMMAND		DATA
1	電源	k	a	00H~01H
2	画面サイズ	k	c	01H~1FH
3	Screen Mute (スクリーン ミュート)	k	d	00H~01H
4	Volume Mute (音量ミュート)	k	e	00H~01H
5	Volume Control (音量制御)	k	f	00H~64H
6	コントラスト	k	g	00H~64H
7	明るさ	k	h	00H~64H
8	カラー	k	i	00H~64H
9	色合い	k	j	00H~64H
10	シャープネス	k	k	00H~64H
11	OSD Select (OSD選択)	k	l	00H~01H
12	リモート ロック/キー ロック	k	m	00H~01H
13	高音	k	r	00H~64H
14	低音	k	s	00H~64H
15	サウンド バランス	k	t	00H~64H
16	Abnomal state (異常状態)	k	z	FFH
17	White Balance Red Gain (ホワイト バランス Redゲイン)	j	m	00H~FEH
18	White Balance Green Gain (ホワイト バランス Greenゲイン)	j	n	00H~FEH
19	White Balance Blue Gain (ホワイト バランス Blueゲイン)	j	o	00H~FEH
20	ISMモード	j	p	01H~08H
21	省エネ モード	j	q	00H~05H
22	Auto Configuration (自動画面調整)	j	u	01H
23	リモコン キー	m	c	キー コード
24	Fail Over Select (フェイルオーバー選択)	m	i	00H~02H
25	Fail Over Input Select (フェイルオーバー入力選択)	m	j	「25. フェイルオーバー入力選択」を参照
26	4 Hours Off	m	n	00H~01H
27	Tile Mode Check (タイル モードの確認)	d	z	FFH
28	タイルモード	d	d	00H~FFH
29	タイルH (水平) 位置	d	e	00H~14H
30	タイルV (垂直) 位置	d	f	00H~14H
31	タイルH (水平) サイズ	d	g	00H~64H
32	タイルV (垂直) サイズ	d	h	00H~64H
33	Tile ID Set (タイルID設定)	d	i	01H~E1H
34	ナチュラル (タイル モード)	d	j	00H~01H
35	映像モード (PSM)	d	x	00H~04H
36	サウンドモード	d	y	00H~05H
37	FAN Fault check (ファン障害チェック)	d	w	FFH
38	Elapsed Time Return (経過時間戻り値)	d	l	FFH
39	Temperature Value (温度値)	d	n	FFH

		COMMAND		DATA
40	Lamp fault check (ランプ障害チェック)	d	p	FFH
41	Speaker (スピーカー)	d	v	00H~01H
42	Sleep Time (スリープ タイマー)	f	f	00H~08H
43	Auto Sleep (オート スリープ)	f	g	00H~01H
44	パワーオンディレイ	f	h	00H~64H
45	言語	f	i	00H~12H
46	DPM選択	f	j	00H~01H
47	リセット	f	k	00H~03H
48	Serial no. (シリアルNo.)	f	y	FFH
49	S / W Version (ソフトウェア バージョン)	f	z	FFH
50	Time 1(Years/ Months/ Days) (時間1 (年/月/日))	f	a	「Time 1 (時間1)」を参照
51	Time 2(Hours/ Minutes/Seconds) (時間2 (時/分/秒))	f	x	「Time 2 (時間2)」を参照
52	Off Timer(Repeat mode/ Time) (オフ タイマー (繰り返し/時間))	f	e	「Off Timer (オフ タイマー)」を参照
53	On Timer(Repeat Mode/ Time) (オン タイマー (繰り返し/時間))	f	d	「On Timer (オン タイマー) を参照」
54	On Timer Input (オン タイマー入力)	f	u	「On Timer Input (オン タイマー入力)」を参照
55	H (水平) 位置	f	q	00H~64H
56	V (垂直) 位置	f	r	23H~41H
57	H (水平) サイズ	f	s	00H~64H
58	Input Select (入力選択)	x	b	20H~D0H
59	Color Temperature (色温度)	x	u	00H~64H
60	PC Power Control (PC電源コントロール)	d	t	00H~01H
61	PC Power (PC電源)	d	s	00H~ 01H

！ 注意

- USB DivXプレーヤーでこの製品を使用する場合、電源 (ka)、キー (mc)、異常状態 (kz)、ファン障害チェック (dw)、経過時間戻り値 (dl)、温度値 (dn)、ランプ障害チェック (dp)、シリアルナンバー チェック (fy)、およびソフトウェア バージョン (fz) 以外のすべてのコマンドは実行されず、エラーとして処理されます。
- 特定のコマンドのステータスを表示する'ff'コマンドでは、SuperSignプログラムとの互換性を維持するため、OSDは表示されません。

送受信プロトコル

伝送方式

[Command1][Command2][][Set ID][][Data][Cr]

* [Command 1]：第1コマンド（k、j、m、d、f、x）

* [Command 2]：第2コマンド（a～u）

* [Set ID]：製品のセットID番号を設定します。

範囲：01H～63H。「0」に設定すると、サーバーはすべてのモニターを制御できるようになります。

* 複数のセットでセットIDを同時に「0」に設定して操作している場合、ACKメッセージはチェックされません。すべてのセットがACKメッセージを送信するため、ACKメッセージ全体をチェックすることは不可能になります。

* [DATA]：コマンド データを送出します。

コマンドのステータスを読み取るには、「FF」データを送出します。

* [Cr]：キャリッジリターン（ASCIIコード「0x0D」）

* []：ASCIIコードのスペース（0x20）

OKアクノリッジメント

[Command2][][Set ID][][OK][Data][x]

* モニターは、正常なデータを受信した場合に、この形式に基づいてACK（アクノリッジメント）を送出します。このとき、データがデータ読み取りモードだった場合、現在のステータス データを送出します。データがデータ書き込みモードだった場合、PCコンピュータのデータを返します。

* メモ：機器の起動が完了するまでは、Acknowledgmentが正常に行われなかったり、遅延する場合があります。

* Set ID '00'（=0x00）からコマンドを送信する場合は、機器は応答しません。

エラー アクノリッジメント

[Command2][][Set ID][][NG][Data][x]

* エラーがある場合、NGを返します。

* リアル データ マッピング

16進数 (設定値)	10進数 (実際の値)
0	0
A	10
F	15
10	16
20	32
64	100
FE	254
FF	255

01. Power (電源) (コマンド: k a)
セットの電源のオン/オフを制御します。

Transmission
[k][a][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: 電源オフ
01: 電源オン

Acknowledgement
[a][][Set ID][][OK][Data][x]

電源オン/オフのステータスを表示します。

Transmission
[k][a][][Set ID][][FF][Cr]

Acknowledgement
[a][][Set ID][][OK][Data][x]

Data
00: 電源オフ
01: 電源オン

02. 画面サイズ (コマンド: k c)
画面の形状を調整します。
リモコンのARC
(画面サイズ制御) ボタンや[スクリーン]メニュー
を使って画面の形状を調整することもできます。

Transmission
[k][c][][Set ID][][Data][Cr]

Data
01: Normal Screen (ノーマル スクリーン) (4 : 3)
02: Wide Screen (ワイド スクリーン) (16 : 9)
04: ズーム
(外部入力、コンポーネント、HDMI/Display Port DTV)
09: Just Scan (ジャスト スキャン)
(コンポーネント、HDMI/Display Port DTV - 720p以上でのみ使用可能)
* RGB、DVI-D、HDMI/Display Port PCモード (1:1) の場合
10~1F: シネマ ズーム1~16
(外部入力、コンポーネント、HDMI/Display Port DTV)

Acknowledgement
[c][][Set ID][][OK][Data][x]

03. Screen Mute (スクリーン ミュート) (コマンド: k d)
スクリーン ミュートのオン/オフを選択します。

Transmission
[k][d][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: Screen mute off (Picture on) (スクリーン ミュート オフ (映像オン))
01: Screen mute on (Picture off) (スクリーン ミュート オン (映像オフ))

Acknowledgement
[d][][Set ID][][OK][Data][x]

04. Volume Mute (音量ミュート) (コマンド: k e)
音量ミュートのオン/オフを制御します。

Transmission
[k][e][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: Volume Mute On (音量ミュート オン) (音量オフ)
01: Volume Mute Off (音量ミュート オフ) (音量オン)

Acknowledgement
[e][][Set ID][][OK][Data][x]

Data
00: Volume Mute On (音量ミュート オン) (音量オフ)
01: Volume Mute Off (音量ミュート オフ) (音量オン)

05. Volume Control (音量制御) (コマンド: k f)
音量を調整します。

Transmission
[k][f][][Set ID][][Data][Cr]

Data
最小: 00H~最大: 64H
(16進数コード)

Acknowledgement
[f][][Set ID][][OK][Data][x]

Data
最小: 00H~最大: 64H

06. コントラスト (コマンド: k g)

画面のコントラストを調整します。

[映像]メニューでコントラストを調整することもできます。

Transmission
[k][g][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H: 0~100

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

最小: 00H~最大: 64H

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

09. 色合い (コマンド: k j) (ビデオ入力のみ)

画面の色合いを調整します。

[映像]メニューで色合いを調整することもできます。

Transmission
[k][j][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H

(16進数コード)

00H: ステップR50

64H: ステップG50

Acknowledgement
[j][][Set ID][][OK][Data][x]

Data最小: 00H~最大: 64H

* 色相のリアル データ マッピング

0: ステップ0~赤

64: ステップ100~緑

07. 明るさ (コマンド: k h)

画面の明るさを調整します。

[映像]メニューで明るさを調整することもできます。

Transmission
[k][h][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H: 0~100

(16進数コード)

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[h][][Set ID][][OK][Data][x]

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

10. シャープネス (コマンド: k k) (ビデオ入力のみ)

画面のシャープネスを調整します。

シャープネスは[映像]メニューで調整することもできます。

Transmission
[k][k][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H: 0~100

(16進数コード)

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[k][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

最小: 00H~最大: 64H

08. カラー (コマンド: k i) (ビデオ入力のみ)

画面の色を調整します。

[映像]メニューで色を調整することもできます。

Transmission
[k][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H: 0~100

(16進数コード)

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

最小: 00H~最大: 64H

11. OSD Select (OSD選択) (コマンド: k l)

セットのOSDのオン/オフを制御します。

Transmission
[k][l][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: OSDオフ

01: OSDオン

Acknowledgement
[l][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

00: OSDオフ

01: OSDオン

12. リモート ロック/キー ロック (コマンド: k m)
セットのリモート ロックのオン/オフを制御します。
この機能は、RS-232Cを制御するときに、リモコンとローカル キーをロックします。

Transmission

[k][m][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: オフ

01: オン

Acknowledgement

[m][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

00: オフ

01: オン

13. 高音 (コマンド: k r)
高音を調整します。

Transmission

[k][r][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00~64: 高音0~100

Acknowledgement

[r][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

14. 低音 (コマンド: k s)
低音を調整します。

Transmission

[k][s][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00~64: 低音0~100

Acknowledgement

[s][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

15. サウンド バランス (コマンド: k t)
サウンドのバランスを調整します。

Transmission

[k][t][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H

(16進数コード)

00H: ステップL50

64H: ステップR50

Acknowledgement

[t][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

最小: 00H~最大: 64H

(16進数コード)

00H: ステップ0~L50

64H: ステップ100~R50

* 音バランス: L50~R50

16. Abnormal state (異常状態) (コマンド: k z)
スタンバイ モード時の電源オフ ステータスの読み取りに使用します。

Transmission

[k][z][][Set ID][][Data][Cr]

Data

FF: 読み取り

Acknowledgement

[z][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

00: 正常 (電源オン、信号あり)

01: 信号なし (電源オン)

02: リモコンによるモニタの電源オフ

03: スリープ予約機能によるモニタの電源オフ

04: RS-232C機能によるモニタの電源オフ

08: オフタイマー機能によるモニタの電源オフ

09: 自動オフ機能によるモニタの電源オフ

17. White Balance Red Gain (ホワイト バランスRed ゲイン) (コマンド: j m)
ホワイト バランスRedゲインを調整します。

Transmission
[j][m][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00~FE: Red gain (Redゲイン) 0~254

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

18. White Balance Green Gain (ホワイト バランスGreen ゲイン) (コマンド: j n)
ホワイト バランスGreenゲインを調整します。

Transmission
[j][n][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00~FE: Green gain (Greenゲイン) 0~254

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

19. White Balance Blue Gain (ホワイト バランスBlue ゲイン) (コマンド: j o)
ホワイト バランスBlueゲインを調整します。

Transmission
[j][o][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00~FE: Blue gain (Blueゲイン) 0~254

Acknowledgement
[o][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

20. ISM mode (ISMモード) (コマンド: j p)
残像防止機能の選択に使用します。

Transmission
[j][p][][Set ID][][Data][Cr]

Data
01: 反転
02: 移動
04: ホワイト ウォッシュ
08: ノーマル

Acknowledgement
[p][][Set ID][][OK][Data][x]

21. 省エネ モード (コマンド: j q)
モニタの消費電力を削減します。

Transmission
[j][q][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: オフ
01: 最小節電
02: 中間節電
03: 最大節電
05: スクリーン オフ

Acknowledgement
[q][][Set ID][][OK][Data][x]

22. 自動画面調整 (コマンド: j u)
映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます。自動処理。注意: RGB (PC) モードに対してのみ適用されます。

Transmission
[j][u][][Set ID][][Data][Cr]

Data
01: To set (設定)

Acknowledgement
[u][][Set ID][][OK][Data][x]

23. キー（コマンド：m c）
IRリモート キー コードを送信します。

Transmission
[m][c][][Set ID][][Data][Cr]

Data
キー コード：「IRコード」を参照してください。

Acknowledgement
[c][][Set ID][][OK][Data][x]

24. Fail Over Select（フェイルオーバー選択）（コマンド：m i）
フェイルオーバー モードを選択します。

Transmission
[m][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00：オフ
01：自動
02：Manual（マニュアル）

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

25. Fail Over Input Select（フェイルオーバー入力選択）（コマンド：m j）
フェイルオーバー モードを選択します。
* フェイルオーバー マニュアル モードのみ。

Transmission
[m][j][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3]
[][Data4][Cr]

Data（優先順位1～4）

60：RGB
70：DVI-D
90：HDMI
C0：Display Port

* 入カラベルにかかわらず、DVI-Dポートのデータには0x70を、HDMI入力のデータには0x90を、DisplayPort入力のデータには0xC0を使用します。

Acknowledgement
[j][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

26. Automatic Standby(自動待機) (Command: m n)
自動待機になる機能を設定します。

Transmission
[m][n][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00：オフ(自動スタンバイ機能は使用しません。)
01：4時間(モニタの電源が4時間オフになります。)

Acknowledgement
[n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

27. Tile Mode Check（タイル モードの確認）（コマンド：d z）
タイル モードのステータスを確認します。

Transmission
[d][z][][Set ID][][Data][Cr]

Data
FF：タイル モードのステータスを確認します。

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

Data1
00：Tile Mode Off（タイル モード オフ）
01：Tile Mode On（タイル モード オン）
Data2
00～0F：Tile Row Value（タイルの行数）
Data3
00～0F：Tile Col Value（タイルの列数）

28. タイルモード (コマンド: d d)
タイルモードを変更します。

Transmission
[d][d][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00~FE: First bit - 列

Second bit - 行

* OSDは、列 x 行で表記。

Data	説明
00, 01, 10, 11	タイルモードはオフです。
12	1 x 2モード (列 x 行)
13	1 x 3モード
14	1 x 4モード
...	...
FF	15 x 15モード

* データは00を除いて、0XまたはX0に設定することはできません。

Acknowledgement
[d][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

29. Tile H Position (タイルH (水平) 位置) (コマンド: d e)

H (水平) 位置を設定します。

画面の位置を調整するには、[タイルH (水平) サイズ]設定を変更する必要があります。

Transmission
[d][e][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 14H

00H: Step -10(Left) (ステップ-10 (左))

14H: Step 10(Right) (ステップ10 (右))

Acknowledgement
[e][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

30. タイルV (垂直) 位置 (コマンド: d f)

V (垂直) 位置を設定します。

画面の位置を調整するには、[タイルV (垂直) サイズ]設定を変更する必要があります。

Transmission
[d][f][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 14H

00H: Step 0(Down) (ステップ-10 (下))

14H: Step 20(Up) (ステップ10 (上))

Acknowledgement
[f][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

31. タイルH (水平) サイズ (コマンド: d g)

H (水平) サイズを設定します。

* タイルナチュラルモードがオフの場合のみ有効です。

Transmission
[d][g][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

32. タイルV (垂直) サイズ (コマンド: d h)

V (垂直) サイズを設定します。

* タイルナチュラルモードがオフの場合のみ有効です。

Transmission
[d][h][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 00H~最大: 64H:0~100

* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

33. Tile ID Set (タイルID設定) (コマンド: d i)

タイル機能にタイルIDを割り当てます。

Transmission
[d][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data

最小: 01H~最大: E1H

(16進数コード)

タイルIDは1~225

FF: タイルIDを確認します

データ値は行 x 列の値を超えることはできません。

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

34. ナチュラル モード (コマンド: d j)
 タイル機能でタイル ナチュラル モードを割り当てます。

* タイルモードがオンの場合のみ有効です。

Transmission
 [d][j][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: Natural Off (ナチュラル オフ)

01: Natural On (ナチュラル オン)

ff: 読み取りステータス

Acknowledgement
 [j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

37. Fan Fault check (ファン障害チェック) (コマンド: d w)

セットのファン障害をチェックします。

Transmission
 [d][w][][Set ID][][Data][Cr]

* データは常にFFです (16進)。

Data

ff: 読み取りステータス

Acknowledgement
 [w][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データはファン障害のステータス値です。

Data

00: Fan fault (ファン障害)

01: Fan Ok (ファンOK)

02: N/A (利用不可)

35. 映像モード (コマンド: d x)

映像モードを調整します。

Transmission
 [d][x][][Set ID][][Data][Cr]

データ構造

データ (16進)	モード
00	鮮明な映像
01	標準映像
02	映画
03	スポーツ
04	ゲーム

Acknowledgement
 [x][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

38. Elapsed time return (経過時間戻り値) (コマンド: d l)

経過時間を読み取ります。

Transmission
 [d][l][][Set ID][][Data][Cr]

* データは常にFFです (16進)。

Acknowledgement
 [l][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データは常にFFです (16進)。
 (16進数コード)

36. サウンドモード (コマンド: d y)

サウンドモードを調整します。

Transmission
 [d][y][][Set ID][][Data][Cr]

データ構造

データ (16進)	モード
00	標準映像
01	音楽
02	映画
03	スポーツ
04	ゲーム

Acknowledgement
 [y][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

39. Temperature value (温度値) (コマンド: d n)

内部の温度値を読み取ります。

Transmission
 [d][n][][Set ID][][Data][Cr]

* データは常にFFです (16進)。

Acknowledgement
 [n][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データは1バイト長の16進数です。

40. Lamp fault Check (ランプ障害チェック) (コマンド: dp)
ランプの障害をチェックします。

Transmission
[d][p][][Set ID][][Data][Cr]

* データは常にFFです (16進)。

Acknowledgement
[p][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

* データは1バイト長の16進数です。

Data
00: Lamp Fault (ランプ障害)
01: Lamp Ok (ランプOK)
02: N/A (DPM/Power Off) (該当なし (DPM/電源オフ))

43. Auto Off (自動オフ) (コマンド: fg)
Auto Off (自動オフ)を設定します。

Transmission
[f][g][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: オフ (自動オフは使用しません。)
01: 15分 (反応が15分間ない場合はセットの電源が落ちます)。

Acknowledgement
[g][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

41. スピーカー (コマンド: dv)
スピーカのオン/オフを切り替えます。

Transmission
[d][v][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[v][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

44. パワーオンディレイ (コマンド: fh)
電源をオンにしたときの遅延時間を設定します (秒単位)。

Transmission
[f][h][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00H~64H (データ値): 0~100
* 「リアル データ マッピング」を参照してください。

Acknowledgement
[h][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

42. Sleep Timer (スリープタイマー) (コマンド: ff)
スリープタイマーを設定します。

Transmission
[f][f][][Set ID][][Data][Cr]

Data
00: オフ
01: 10
02: 20
03: 30
04: 60
05: 90
06: 120
07: 180
08: 240

Acknowledgement
[f][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

45. 言語 (コマンド: fi)
OSDの言語を設定します。

Transmission
[f][i][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: チェコ語
01: デンマーク語
02: ドイツ語
03: 英語
04: スペイン語 (EU)
05: ギリシャ語
06: フランス語
07: イタリア語
08: オランダ語
09: ノルウェー語
0a: ポルトガル語 (EU)
0b: ポルトガル語 (ブラジル)
0c: ロシア語
0d: フィンランド語
0e: スウェーデン語
0f: 韓国語
10: 簡体字中国語
11: 日本語
12: 繁体字中国語

Acknowledgement
[i][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

47. リセット (コマンド: fk)
[映像リセット]、画面のリセット、[工場出荷状態へリセット]の機能を実行します。

Transmission
[f][k][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: 映像リセット
([映像]メニューで設定した値をリセットします。)
01: スクリーンリセット
([画面調節]オプションで設定した値をリセットします。)
02: 工場出荷状態
([オプション]メニューで設定した値をリセットします。)
03: オーディオリセット
([音声]メニューで設定した値をリセットします。)

Acknowledgement
[k][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

48. Serial no.Check (シリアルNo.チェック) (コマンド: fy)
シリアルナンバーをチェックします。

Transmission
[f][y][][Set ID][][Data][Cr]

Data

FF (シリアルナンバーの読み取り)

Acknowledgement
[y][][Set ID][][OK/NG][Data1] to [Data13][x]

* データ形式はASCIIコードです。

46. DPM選択 (コマンド: fj)
DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定します。

Transmission
[f][j][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: オフ
01: オン

Acknowledgement
[j][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

49. S/W Version (ソフトウェアバージョン) (コマンド: fz)
ソフトウェアバージョンをチェックします。

Transmission
[f][z][][Set ID][][Data][Cr]

Data

FFH: 読み取り

Acknowledgement
[z][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

50. Time 1 (Year/ Month/ Day) (時間1 (年/月/日))

(コマンド: fa)

時間1 (年/月/日) の値を設定します。

Transmission

[f][a][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

Data 1

00~14: 2010~2030

Data 2

01~0C: 1月~12月

Data 3

01~1F: 1~31日

* 時間1の値を確認するには、「fa [Set ID] ff」と入力します。

Acknowledgement

[a][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

51. Time 2 (Hour/ Minute/ Second) (時間2 (時/分/秒))

(コマンド: fx)

時間2 (時/分/秒) の値を設定します。

Transmission

[f][x][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

Data 1

00~17: 00~23時

Data 2

00~3B: 00~59分

Data 3

00~3B: 00~59秒

* 時間2の値を確認するには、「fx [Set ID] ff」と入力します。

** 時間1が設定済みでない場合、このコマンドは機能しません。

Acknowledgement

[x][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

52. Off Timer (Repeat Mode/ Time) (オフタイマー (繰り返しモード/時間))

(コマンド: fe)

1) オフタイマー (繰り返しモード/時間) 機能を設定します。

Transmission

[f][e][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

Data 1

00: 繰り返しオフ

01: 一回繰り返し

02: 毎日繰り返し

03: 月~金曜日まで繰り返し

04: 月~土曜日まで繰り返し

05: 土~日曜日まで繰り返し

06: 日曜日に繰り返し

07: 月曜日に繰り返し

08: 火曜日に繰り返し

09: 水曜日に繰り返し

0A: 木曜日に繰り返し

0B: 金曜日に繰り返し

0C: 土曜日に繰り返し

Data 2

00~17: 00~23時

Data 3

00~3B: 00~59分

* Off Timer (Repeat mode/ Time) (オフタイマー (繰り返しモード/時間)) の値を確認するには、「fe [Set ID] ff」と入力します。

* この機能を設定する前に、Time1 (時間1) と Time2 (時間2) が設定されていることを確認します。

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

2) オフタイマー (繰り返しモード/時刻) 機能の設定値を確認します。

Transmission

[f][e][][Set ID][][Data1][][f][f][][f][f][Cr]

Data 1

f1~f7: オフタイマー リストの1~7番目のインデックス番号。

Acknowledgement

[e][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[Data4][x]

Data 1

f1~f7: オフタイマー リストの1~7番目のインデックス番号。

Data 2

00: 繰り返しオフ

01: 一回繰り返し

02: 毎日繰り返し

03: 月~金曜日まで繰り返し

04: 月~土曜日まで繰り返し

05: 土~日曜日まで繰り返し

06: 日曜日に繰り返し

07: 月曜日に繰り返し

08: 火曜日に繰り返し

09: 水曜日に繰り返し

0A: 木曜日に繰り返し

0B: 金曜日に繰り返し

0C: 土曜日に繰り返し

Data 3

00~17: 00~23時

Data 4

00~3B: 00~59分

53. On Timer(Repeat Mode/ Time) (オン タイマー (繰り返しモード/時間)) (コマンド: f d)

1) オン タイマー (繰り返しモード/時間) 機能を設定します。

Transmission

[f][d][][Set ID][][Data1][][Data2][][Data3][Cr]

Data1

00: 繰り返しオフ
01: 一回繰り返し
02: 毎日繰り返し
03: 月～金曜日まで繰り返し
04: 月～土曜日まで繰り返し
05: 土～日曜日まで繰り返し
06: 日曜日に繰り返し
07: 月曜日に繰り返し
08: 火曜日に繰り返し
09: 水曜日に繰り返し
0A: 木曜日に繰り返し
0B: 金曜日に繰り返し
0C: 土曜日に繰り返し

Data2

00～17: 00～23時

Data3

00～3B: 00～59分

* オン タイマー (繰り返しモード/時間) の値を確認するには、「fd [Set ID] ff」と入力します。

* この機能を設定する前に、Time1 (時間1) と Time2 (時間2) が設定されていることを確認します。

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

2) オン タイマー (繰り返しモード/時刻) 機能の設定値を確認します。

Transmission

[f][d][][Set ID][][Data][][f][f][][f][f][Cr]

Data1

f1～f7: オン タイマー リストの1～7番目のインデックス番号。

Acknowledgement

[d][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2][Data3][Data4][x]

Data1

f1～f7: オン タイマー リストの1～7番目のインデックス番号。

Data2

00: 繰り返しオフ
01: 一回繰り返し
02: 毎日繰り返し
03: 月～金曜日まで繰り返し
04: 月～土曜日まで繰り返し
05: 土～日曜日まで繰り返し
06: 日曜日に繰り返し
07: 月曜日に繰り返し
08: 火曜日に繰り返し
09: 水曜日に繰り返し
0A: 木曜日に繰り返し
0B: 金曜日に繰り返し
0C: 土曜日に繰り返し

Data3

00～17: 00～23時

Data4

00～3B: 00～59分

54. On Timer Input (オン タイマー入力) (コマンド: f u)

1) オン タイマー入力機能を設定します。

Transmission

[f][u][][Set ID][][Data][Cr]

Data

20: AV
40: コンポーネント
60: RGB
70: DVI-D
90: HDMI
C0: Display Port

* この機能を設定する前に、時間1、時間2、および オン タイマー (繰り返し/時刻) 機能が設定されていることを確認します。

* オン タイマー予約を正しく設定するには、このコマンドを実行する前にOn Timer(Repeat Mode/ Time) (オンタイマー (繰り返しモード/時間)) コマンドを実行してください。

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

2) オン タイマー入力機能の設定値を確認します。

Transmission

[f][u][][Set ID][][Data][][f][f][Cr]

Data1

f1～f7: オン タイマー入力リストの1～7番目のインデックス番号。

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK/NG][Data1][Data2]

Data1

f1～f7: オン タイマー入力リストの1～7番目のインデックス番号。

Data2

20: AV
40: Component
60: RGB
70: DVI-D
90: HDMI
C0: Display Port

55. H (水平) 位置 (コマンド: f q)

H (水平) 位置を設定します。

* タイルモードがオフの場合のみ有効です。

* RGBモードのみ有効です。

Transmission

[f][q][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00～64: 左50～右50

Acknowledgement

[q][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

56. V (垂直) 位置 (コマンド: fr)

V (垂直) 位置を設定します。

* タイルモードがオフの場合のみ有効です。

* RGBモードのみ有効です。

Transmission

[f][r][][Set ID][][Data][Cr]

Data

23~41: 下15~上15

Acknowledgement

[r][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

57. H (水平) サイズ (コマンド: fs)

H (水平) サイズを設定します。

* タイルモードがオフの場合のみ有効です。

* RGBモードのみ有効です。

Transmission

[f][s][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00~64: サイズ-50~+50

Acknowledgement

[s][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

58. Input Select (入力選択) (コマンド: xb)

セットの入力元を選択します。

Transmission

[x][b][][Set ID][][Data][Cr]

Data

20: AV (CVBS)

40: コンポーネント

60: RGB (PC)

70: DVI-D

90: HDMI (DTV)

A0: HDMI (PC)

C0: Display Port (DTV)

D0: Display Port (PC)

Acknowledgement

[b][][Set ID][][OK/NG][Data][x]

59. Color Temperature (色温度) (コマンド: xu)

画面の色温度を調整します。

Transmission

[x][u][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00~64: 暖色50~冷色50

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK][Data][x]

60. PC Power Control (PC電源コントロール)

(コマンド: dt)

PCとモニタが同期している場合に、PCの電源を制御します。

Transmission

[x][u][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: 同期 (モニタがオフの場合、PCもオフになります。)

01: 同期しない (モニタがオフでも、PCはオンです。)

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

00: 同期 (モニタがオフの場合、PCもオフになります。)

01: 同期しない (モニタがオフでも、PCはオンです。)

61. PC Power (PC電源) (コマンド: ds)

PCとモニタが同期していない場合に、PCの電源を制御します。

Transmission

[x][u][][Set ID][][Data][Cr]

Data

00: PCがオフになります。

01: PCがオンになります。

Acknowledgement

[u][][Set ID][][OK][Data][x]

Data

00: PCがオフになります。

01: PCがオンになります。

保証とアフターサービス

業務用モニター製品の修理受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

製品についてのご相談や、修理のご依頼は、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター



(フリーダイヤル)

0120-813-023

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

IP電話などからフリーダイヤルが
ご利用いただけない場合は

TEL:03-5675-7323

受付時間 ■月曜～金曜 09:00～20:00 ■土曜・日曜・祝日 09:00～18:00 (年末年始を除く)

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。利用調整する範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。



LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512 東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階



LG

Life's Good

この製品に含まれるGPL、LGPL、MPLのソースコード、およびその他のオープンソースのライセンスを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご覧ください。

ソースコードに加えて、言及されているすべてのライセンス条項、免責条項、および著作権に関する通知もダウンロード可能です。

LG Electronicsでは、ソースコードを収録したCD-ROMを有償（CD-ROM代、送料、取扱手数料など含む）にて提供しています。ご希望される場合は、opensource@lge.comまで電子メールでご連絡ください。このサービスは、製品をご購入いただいた日から3年間有効です。

製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。

取扱説明書（CD）は後で参照できるようにわかりやすい場所に保管してください。製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。保守が必要になった場合に備えて下の欄にご記入ください。

モデル _____

シリアル _____

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S. Environmental Protection Agency(EPA).



As an ENERGY STAR Partner LGE U. S. A.,Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

この機器の電源をオンまたはオフにすると、通常、一時的なノイズが発生します。